

関東甲信越地区 国立大学法人等

仕事紹介ガイドブック

2024



CONTENTS

- P 2 国立大学法人等とは
- P 6 私たちのフィールド
- P20 私たちのキャリア形成
- P25 私たちのワーク・ライフ・バランス
- P27 関東甲信越地区64機関紹介

国立大学法人等とは

国立大学法人等は、教育、研究、地域貢献・国際貢献、文化・芸術振興を通じて、社会の発展に寄与するという公共的な役割を担っています。

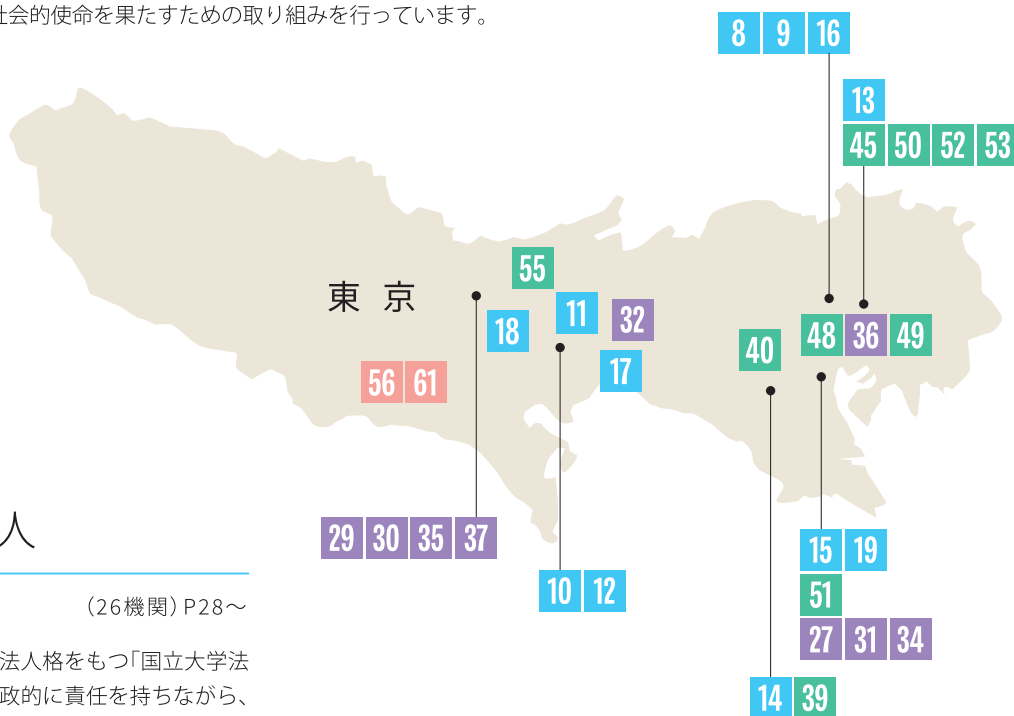
各機関は個性と特色を発揮し、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。

国立大学法人

(26機関) P28～

各国立大学は独立した法人格をもつ「国立大学法人」となりました。国が財政的に責任を持ちながら、自主・自律という大学の特性を活かした運営ができる新しいスタイルです。学術研究の一層の活性化はもとより、教育機能の強化や学生サービスの改善、あるいは、産学連携や地域貢献活動の充実などについて、それぞれの理念をより良く実現できるよう、自主性・自律性を生かした積極的な運営に取り組んでいます。

- | | |
|------------|--------------|
| 1 茨城大学 | 14 東京工業大学 |
| 2 筑波大学 | 15 東京海洋大学 |
| 3 筑波技術大学 | 16 お茶の水女子大学 |
| 4 宇都宮大学 | 17 電気通信大学 |
| 5 群馬大学 | 18 一橋大学 |
| 6 埼玉大学 | 19 政策研究大学院大学 |
| 7 千葉大学 | 20 横浜国立大学 |
| 8 東京大学 | 21 総合研究大学院大学 |
| 9 東京医科歯科大学 | 22 新潟大学 |
| 10 東京外国語大学 | 23 長岡技術科学大学 |
| 11 東京学芸大学 | 24 上越教育大学 |
| 12 東京農工大学 | 25 山梨大学 |
| 13 東京藝術大学 | 26 信州大学 |



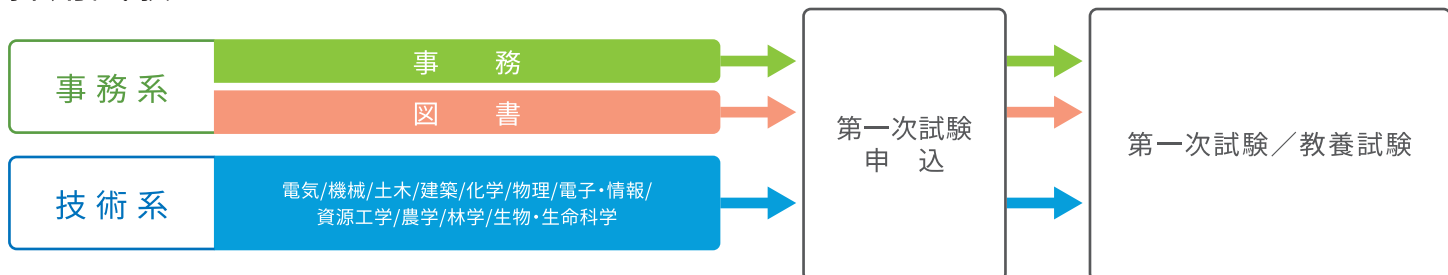
大学共同利用機関法人

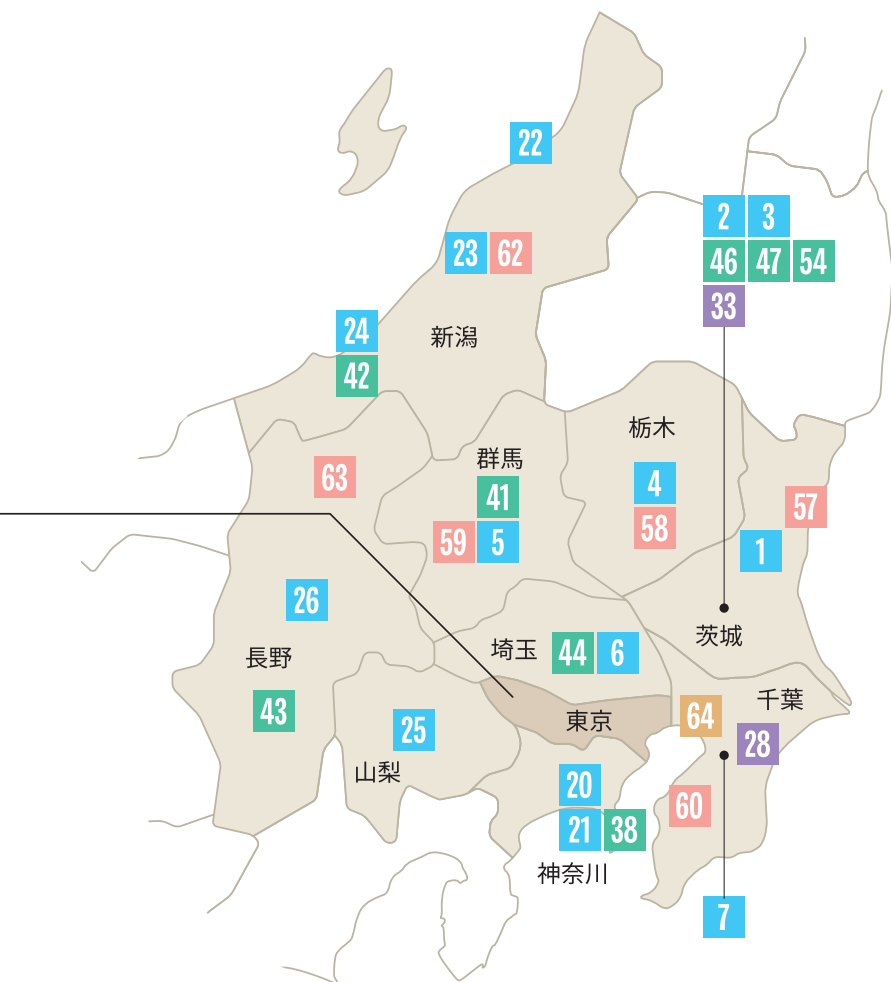
(11機関) P32～

大学共同利用機関は、法人化を契機に4つの機関に再編されました。各機関が設置した我が国を代表する中核的研究拠点である大学共同利用機関は、全国の大学の関連研究者のニーズに応え、海外の研究者とも連携を図りながら、最先端の研究領域において大型の実験観測施設・装置を開発し、貴重な学術情報・資料を集積し、これらの共同利用により効果的・先端的な共同研究を推進し、大学院教育や高度な研究者の育成に取り組んでいます。

- | | |
|----------------|------------------|
| 27 人間文化研究機構事務局 | 33 高エネルギー加速器研究機構 |
| 28 国立歴史民俗博物館 | 34 情報・システム研究機構 |
| 29 国文学研究資料館 | 35 国立極地研究所 |
| 30 国立国語研究所 | 36 国立情報学研究所 |
| 31 自然科学研究機構事務局 | 37 統計数理研究所 |
| 32 国立天文台 | |

採用試験のプロセス





独立行政法人 国立高等専門学校機構

(8機関) P36～

国立高等専門学校(高専)は、社会が必要とする実践的技術者を養成するため、中学校卒業生を受け入れ、5年間の一貫教育を行う高等教育機関として、全国に51校、設置されています。それぞれの高専が、自主・自律的に改革に取り組み、社会経済環境の変化に積極的に対応するとともに、高専機構という1つの法人として、スケールメリットを活かした戦略的・効率的な運営を行っています。

- 56 国立高等専門学校機構本部事務局
- 57 茨城工業高等専門学校
- 58 小山工業高等専門学校
- 59 群馬工業高等専門学校
- 60 木更津工業高等専門学校
- 61 東京工業高等専門学校
- 62 長岡工業高等専門学校
- 63 長野工業高等専門学校

独立行政法人

(18機関) P34～

国が直接行っていた公共的な事務・事業について、計画的・効率的な運営を行うことで、より良い行政サービスを提供しています。

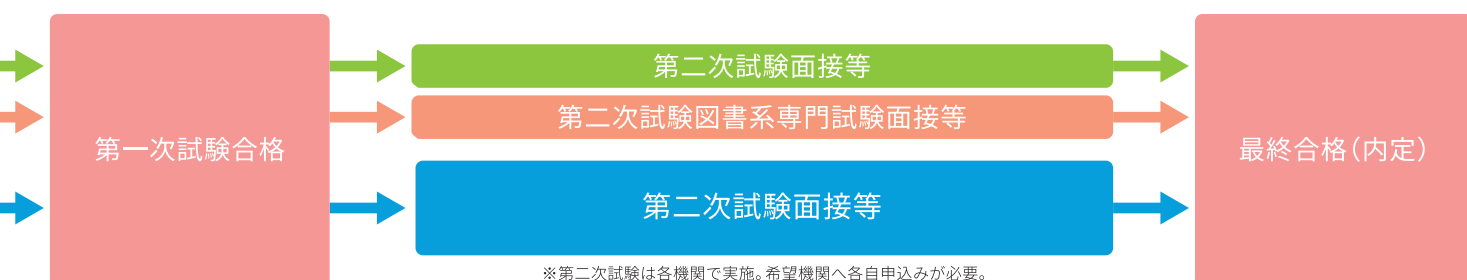
- | | |
|------------------|------------------|
| 38 国立特別支援教育総合研究所 | 48 東京国立近代美術館 |
| 39 大学入試センター | 49 国立映画アーカイブ |
| 40 国立青少年教育振興機構 | 50 国立西洋美術館 |
| 41 国立赤城青少年交流の家 | 51 国立新美術館 |
| 42 国立妙高青少年自然の家 | 52 東京国立博物館 |
| 43 国立信州高遠青少年自然の家 | 53 東京文化財研究所 |
| 44 国立女性教育会館 | 54 教職員支援機構 |
| 45 国立科学博物館 | 55 大学改革支援・学位授与機構 |
| 46 物質・材料研究機構 | |
| 47 防災科学技術研究所 | |

特別な学校法人

(1機関) P38

法律に基づく特別な学校法人である放送大学学園が設置する大学です。

- 64 放送大学学園



業務内容

business content

各機関では、企画や運営に関わる仕事、学生や研究を支援する仕事、専門知識を活かす仕事など、人事異動により幅広い業務を経験し、多彩なフィールドで活躍することができます。あなたの活躍するフィールドはどれでしょう？

※なお、上記の業務内容は、国立大学等の代表的なものであり、機関の設置目的や規模、事業内容等により異なります。

学生支援

学生の入学から卒業までを学業面、生活面から支援します。



- ▶学籍管理、修学指導、成績データの処理
- ▶奨学金、授業料免除、学生の健康管理、生活指導
- ▶就職サポート
- ▶大学入学共通テスト・個別学力試験の実施

→P6

企画・評価

機関を発展させるための企画・立案を担います。



- ▶将来計画、大学改革
- ▶中期目標、中期計画、年度計画
- ▶大学経営の企画・評価（外部評価、自己点検評価）
- ▶業務改善推進

→P9

広報・社会連携

機関の教育研究活動の内容やその成果を社会に発信する役割を担います。



- ▶広報活動の企画・立案・実施
- ▶情報公開に関する業務
- ▶地域貢献活動（公開講座、出前授業等）の企画・実施

→P10
→P11

財務

組織運営に必要な財務上の計画や管理を行います。



- ▶組織運営に必要な予算の要求・執行
- ▶各種物品の契約・購入・管理
- ▶授業料・検定料・入学金等の収入金の出納

→P14

図書

教育・研究のための学術情報の提供を行います。

※司書の資格は必要ありませんが、図書館学概論等の専門的知識が必要です。



- ▶図書の貸出・返却、利用案内
- ▶図書雑誌の購入・受入・分類・目録作成
- ▶他機関との相互利用に関する業務
- ▶利用者の情報リテラシー教育

→P15

国際交流

海外との学術交流・学生交流の
推進を支援します。



- ▶ 海外の大学・研究機関等との学術交流事業
- ▶ 外国人研究員等の受入、教職員の海外派遣
- ▶ 留学生の受入、学生の留学支援
- ▶ 地域社会と留学生の交流事業

→P7

研究支援

研究の助成、産学官連携の推進を
支援します。



- ▶ 受託研究・民間との共同研究等の外部資金受入
- ▶ 知的財産の管理
- ▶ 寄附講座・寄附研究部門の設置・運営
- ▶ 地域研究拠点の運営・推進

→P8

医療支援

高度先進医療を担う附属病院の
管理運営業務を行います。



- ▶ 外来患者の受付、入退院の手続、医療情報の管理
- ▶ 診察・入院料金の計算・収納
- ▶ 地域連携医療、災害医療支援、病院再開発計画の策定
- ▶ 病院経営にかかる情報の収集・分析

→P12

総務・人事

事務全般を総括し、機関や教職員を支えるための
幅広い業務を行います。



- ▶ 教授会・評議会等の会議運営
- ▶ 入学式・卒業式等の式典運営
- ▶ 規則の制定・改廃
- ▶ 教職員の採用・昇任・異動・給与・研修・福利厚生

→P13

施設系

キャンパス内の多種多様な施設に関する
計画、施工から保全等の業務を行います。



- ▶ 新築・耐震改修等の計画・調査・設計・積算・検査
- ▶ 工事の発注、工事現場監理
- ▶ 省エネルギー対策の策定
- ▶ キャンパスマスタープラン作成

→P16

教育・研究支援系

専門知識を活かし、技術面から
教育・研究活動を支援します。



- ▶ データ解析、計測・観測技術の開発、試料作製
- ▶ 学生の実験等の技術支援・助言
- ▶ 研究・実験機器等の設計・開発・維持・管理
- ▶ ネットワーク・システムの管理・運営

→P17

学生支援

塵も積もれば
山となる

Q₁ 現在の仕事内容について

東京キャンパスにある社会人大学院の教務を担当しています。担当学位プログラムの入学式から大学院説明会、入学試験、学位論文提出等、学位記授与式までの学生に係る年間行事に沿って様々な業務を行います。また、月に1回、担当学位プログラムの教育会議の運営を担当します。窓口として、学生等を相談内容に応じた適切な部署へ繋ぐ役割も担っています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

国を挙げてリカレント教育が推進されていますが、私自身も学び直しに関心をもったり、学生から日々刺激を受けています。職員はもちろん、教員・学生とも近い距離で接することができ、色々な人に出会うことができるのが教務の魅力だと思います。

Q₃ 職場の雰囲気について

職場(支援室内)は、穏やかな方が多く、とても話しやすい雰囲気です。担当の学位プログラム(専攻)によって教員・学生の雰囲気の違いがあるようにも感じています。英語のプログラムもあり、国際性も感じられる職場です。



筑波大学 社会人大学院等支援室人間総合教務担当
一般職員

平成29年度採用

鈴木 美佳
スズキ ミカ

10:00	出勤	本部署は夜間大学院のため勤務時間がシフト制です。スケジュール管理、情報共有がより大切となります。
	メール対応 (照会・問い合わせ)	受験希望者、在学生や卒業生、教職員からの問い合わせ・相談・照会案件の対応をします。優先順位の高いものから対応していきます。
	電話対応	支援室代表電話番号であることもあり、様々な電話がきます。適切な担当者に繋がります。
14:00	昼食	外の空気を吸ってリフレッシュ。
14:45	会議資料作成	担当学位プログラムの会議が月に1回あります。議題の検討及び資料作成を行います。
18:30	退勤	明日の業務の確認、見通しを立てて退勤。

国際交流

一定の品質で



自然科学研究機構事務局 研究協力課国際企画係員

令和元年度採用

野口 智香

ノグチ トモカ

Q₁ 現在の仕事内容について

日々の業務では、機構で雇用した外国人研究員に対して事務的なサポートを行っています。また、事務局は、5つの研究機関と2つのセンターをまとめる組織という側面もあることから、国際連携に関する機構内の会議の運営や、機関で締結している国際交流協定の管理や内容の確認を行っています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

機構に採用されて現在の部署に配属されるまで、2つの係で業務を行ってきました。採用1年目は右も左もわからなかったことが、現在では新しい部署に配属されても、今までの経験を活かして、1からではなく状況に対応できることにやりがいを感じます。

Q₃ 職場の雰囲気について

職員同士のコミュニケーションがとりやすい職場環境です。所属する国際企画係では、外国人研究員から旅費や給与等の様々な事項に関して問合せがあり、いろいろな部署とコミュニケーションをとる必要がありますが、ワンフロアなこともあり、どの部署も話しやすい雰囲気があります。

月曜日	業務確認・会議準備	今週のToDoの確認、翌日の会議に向けて資料の確認や送付等を行います。
火曜日	会 議	会議資料の印刷、オンライン会議用機材の準備、会議への陪席を行います。
水曜日	問合せ対応・英訳依頼対応	外国人研究員からの出張等に関する問合せや他部署からの改正規程の英訳依頼に対応します。
木曜日	問合せ対応	前日の問合せに関する対応を関係部署に確認の上、問合せ元に返信します。
金曜日	資料作成	次回の会議に向けての資料作成を行います。

研究支援

すべては 高専学生の ために！



国立高等専門学校機構本部事務局 研究推進課
研究支援係 係長

澤浦 文章
サワウラ フミアキ

平成19年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

全国に51校ある国立の高等専門学校の研究活動の支援を行っています。例えば、共同研究のための契約書作成の支援や、研究成果として生じた発明の特許化やライセンス・譲渡の支援。また、研究活動での不正行為防止といったコンプライアンス確保のための活動を行っています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

企画したイベントや、自分が設計に関わった制度の運用で、目標としていた数値を達成できたり、関わった高専の教職員・学生から感謝の言葉を頂いた時に、やりがいを感じます。

Q 3 後輩に求める姿について

時代の変化がこれまで以上に加速して、仕事のツールも、対面→電話→メール→チャットと新たなものが登場するなかで、新しいことにワクワクできて、自分で学習することを止めない方々と働きたいです。ぜひ、一緒におもしろい仕事をやりましょう！

8:30	出勤	役員や所属課の職員のスケジュールをチェック。 今日やるべきことを簡単に箇条書き。
	電話・メール対応	メールや職場チャットに届いた全国高専からの質問等への対応。文面で説明しきれないときは、補足で電話もする。
11:00	企業来訪対応	高専に興味があり、連携したいとの希望のある企業が来訪されての打合せ。先方の希望をヒアリングして、どのような連携メニューがあるかを提案
12:15	昼食	昼食を食べながら、高専に関するニュースを検索。
15:00	オンライン打合せ	弁理士（特許など知的財産の専門家）とオンラインで打合せ。 高専から寄せられた共同研究の契約書案の内容に関する検討
17:00	退勤	子供の保育園お迎えに間に合うように定時退勤。

企画評価

成功の反対は
失敗ではなく
やらないこと

信州大学 経営企画部経営企画課学事・改革担当
係員

平成30年度採用

浦野 洋輝
ウラノ ヒロキ

Q 1 現在の仕事内容について

経営戦略に基づく学部や研究科等の組織再編を担当しており、具体的には新しい学部の新設や既存の専攻を廃止する業務を担当しています。組織再編を進めるうえで、大学役員や文部科学省との調整も担当しています。

また、学校教員や看護師等の資格取得に関連した教育課程の変更手続きも担当しており、所管省庁に申請を行っています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

大学の根幹を担う組織再編に関する業務を担当しているので、責任の重さではありますが、その分やりがいを感じます。

また、学部や研究科の教職員と議論しながら、より良い構想内容に仕上がったことを実感した時、うれしさと達成感を感じました。

Q 3 職場の雰囲気について

事務室がコンパクトなこともあり、担当係同士だけでなく別の係の担当者とも気軽に話ができる風通しの良い職場だと感じています。

また、お昼休みには有志でスポーツをやる時があり、仕事以外でも職員間の交流があるので、公私ともに楽しむことができています。

8:30	出 勤	メールを確認し、1日の対応事項を整理します。
10:00	役員打ち合わせ	組織再編に係る具体的な構想内容について、役員と打ち合わせを行います。
12:00	昼 食	食後、スポーツをすることがあります。
13:00	申請書類確認	学部から提出された書類の内容を確認して、所管省庁に申請します。
15:00	会議資料作成	組織再編に係る構想内容を学内会議に諮り、全学的な意思決定が行われた後、文部科学省への申請手続きが開始されます。
17:15	退 勤	翌日の予定を確認してから退勤します。

広報

相手への 敬意を忘れない



国立青少年教育振興機構 総務部総務課広報係
係長

西川 真一郎
ニシカワ シンイチロウ

平成23年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

主に全国に27ある地方施設（国立青少年交流の家・自然の家）と東京の国立オリンピック記念青少年総合センターの取組みについて情報発信を行っています。その他、クラウドファンディングやネーミングライツ事業を担当し、国立青少年教育振興機構のプレゼンス向上に寄与しています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

地方施設勤務の時は目の前の子供たちの笑顔に触れてやりがいを感じていましたが、本部勤務では直接子供と接することは少ないものの、地方施設で行われた事業の報告等によって、自分のやっている仕事の先に全国の子供たちの笑顔があるということを実感し、やりがいを感じています。

Q 3 職場の雰囲気について

終始、明るい雰囲気です。日々のコミュニケーションを大切に、係の職員それぞれが積極的に意見を出し、雑談を交えながら企画や業務のアイデアを共有をしたりと、かぜとおしの良い環境です。現状に甘んじず日々改善を考えて皆が主体的に動いています。

8:45	出勤	メールチェック後、優先事項を判断し、係内における各種業務振り分けをします。
9:00	資料作成	各種会議や照会のあった資料の作成を行います。
12:00	昼食	食後、構内の散歩をしたりしてリフレッシュをします。
13:00	打合せや各種業務対応	関係各所との打ち合わせや、広報スペースの管理、各種広報イベントの企画等を行います。
17:45	退勤	翌日出勤してから行うことをメモにして、帰宅します。

社会連携

一步一步、 明日の自分に繋がる 仕事をする。



横浜国立大学 研究・学術情報部産学・地域連携課
産学連携係 係長

Q₁ 現在の仕事内容について

産(企業)学(大学)官(自治体等)連携の連絡窓口になっている系の業務を担っています。企業等からの相談は個々に違うため、意図を汲み取りながら学内の適切な部署に繋ぎつつ、研究がより一層推進・活性化するようサポートしています。また、担当のセンターや施設管理の庶務・会計・予算管理などチームで行う業務の統括もしています。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

総務系・会計系・学生支援系・研究支援系・国際系など大学事務の仕事は奥が深いですが、違う分野の部署に異動してもこれまでの業務経験が無駄になることはありません。これまでの業務経験が今の仕事に繋がった時は仕事をコツコツと取り組んできて良かったとやりがいを感じます。

Q₃ 後輩に求める姿について

連携プレーができる人、コミュニケーション力がある人と一緒に働きたいです。一人で完結する仕事はありません。企業・自治体・地域・海外・他大学との連携、教員との連携、職員間の連携など様々な形で連携プレーができる人は大学職員に向いていると思います。

平成19年度採用

松原 千穂
マツバラ チホ

7:20	通勤	通勤電車内で一日の業務の流れを自分なりに整理する時間になっています。
8:30	出勤	業務スタート。問合せ事項の対応やメール対応漏れがないかチェックしながら業務を進めます。
9:30	チーム内業務の確認	パートタイムの職員の方が続々と出勤するので引継ぎ事項や業務等のチーム内での情報・課題を共有します。
10:30	オンライン打合せ	この日は産学連携関係のイベントについて他大学とのオンライン会議に参加。
13:00	会議議事録作成や各種書類作成	資料作成、会計処理、調査回答まとめ作業など、自分なりの作業時間にあてています。
16:00	帰宅	育児のための制度を利用して早めに帰宅しています。

一期一会



山梨大学 医学域総務課臨床教育支援グループ
一般職員

令和2年度採用

伊藤 圭央
イトウ カオ

Q 1 現在の仕事内容について

山梨大学医学部附属病院は、臨床研修病院に指定されており、多くの研修医を受け入れています。その研修医に対する事務的なサポートや、他病院を含む県内の全研修医を対象とした勉強会やセミナーの開催、研修医の採用試験などが主な業務です。当院で研修を受けたいと思ってもらえるような体制やイベントを日々考えています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

事務作業がメインで、一日中パソコンとにらめっこする日もありますが、研修医の勉強会に使用する会場設営などで院内を駆け回る日もあり、地味な仕事ですが、日本の医療を担う先生方を陰でサポートしているんだ、と実感するときは特にやりがいを感じます。

Q 3 国立大学法人等職員を選んだ理由について

以前から、人のためになる仕事に就きたいと考えていました。就職活動で自身の大学生活を振り返った際に、大学は教育、研究、医療などの様々な分野で地域に貢献している場所だと気づき、私もその手助けをしたいと思い、国立大学法人等職員を選びました。

4月	オリエンテーション	研修医の先生方の、研修が始まります。入職の手続きや、研修医室の紹介、白衣などを用意します。
6月	医師免許受け取り	忙しい先生に代わって、医師免許を保険所まで取りに行きます。
7月～9月	研修医採用試験	来年度の研修医の採用試験を行います。面接官の調整、応募書類の受け付け、当日の運営などを行います。
10月 11月	ローテーション決め	研修医の先生方の、次年度にまわる診療科のローテーションを調整します。必須科目をすべて受けられるよう、調節します。
12月～3月	研修医合同研究発表会	二年間の研修を終えた研修医の先生方の集大成です。ポスター作成補助や、優秀賞の賞状作成、贈呈などを行います。
3月	修了式	それぞれの進路に進む先生方をお見送りします。二年間の研修を終えた先生たちの背中からはとても頼もしいです。

総務人事



新潟大学 人文社会科学系総務課新潟附属学校係
一般職員

平成27年度採用

河内 琢馬
カワウチ タクマ

毎日 を ノー残業デーに

Q₁ 現在の仕事内容について

新潟大学附属小中学校の事務室で勤務しています。担当業務は、学内・学外機関からの通知・調査対応、共済組合や諸手当にかかる手続き、健康診断のとりまとめ、児童生徒用の教科書関連手続き、入試関係などです。総務・人事関係が主ですが多岐にわたります。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

これまでの仕事のやり方を、デジタル化・簡素化したり、マクロ等を組んで半自動化したりすることで、業務負担を軽減することができた時はとてもやりがいを感じます。係内でも業務の負担軽減に積極的なので、とてもやりやすい雰囲気です。

Q₃ 後輩に求める姿について

積極的に新しいことを提案・実行できる方と働きたいです。今までのやり方をそのまま行うのではなく、その方法は合理的なのか、もっと良い方法はないのかを考えながら業務をすることが重要だと思います。

9:00	出 勤	育児時間を取得しており、出勤時間を30分遅らせています。
	通知等の対応	学内・学外からの通知や調査の対応をします。
12:00	昼 食	附属学校勤務のため給食を食べています。 中学生以来の給食です。
	教科書給与手続き	各校の担当教員と内容を確認し、県へ報告をします。
	健康診断とりまとめ	附属学校だけでも教職員が100人以上おり、 様々なパターンがあるため注意が必要です。
16:45	退 勤	育児時間を取得しており、退勤時間を30分早めています。 退勤後、子供を保育園へ迎えに行きます。

財務

視点を 変えれば 不可能が 可能になる



防災科学技術研究所 総務部経理課
係員

令和3年度採用

清水 唯人
シミズ ユイト

Q 1 現在の仕事内容について

主な仕事内容は「予算管理」です。経理処理に使用している財務会計システムを利用し、システムへの登録作業、予算執行状況の確認および予算財務に係る調査対応を行っています。システムの管理も担当しているので、所内からのシステム関連の問い合わせ対応を行います。

また、国庫補助金の交付申請や実績報告等の事務処理を行っています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

決算は、いわば1年間の総まとめです。1年間の予算に係るデータをまとめ、財務諸表に過不足なく取り込ませることができ、作成が完了したときは達成感があります。また、予算執行状況分析が所の運営に貢献できていることにやりがいを感じます。

Q 3 職場の雰囲気について

職場はアットホームな雰囲気で、話しやすい環境です。仕事を進めていくなかで発生した疑問点・不明点について上司・同僚に気兼ねなく相談することができるので、新しい仕事へも意欲的に取り込むことができる環境だと思います。

9:00	出勤	メールチェックを行い、今日一日の業務内容を整理します。
	通常業務	問い合わせ対応や、システムへの登録作業を行います。
10:00	課内会議	課内の現況報告や、懸念事項の情報共有を行います。
12:15	昼休憩	
13:00	予算執行状況調査	予算に係るデータを出力し、執行状況について分析を行います。必要に応じて、予算を執行している研究者へ状況確認を行います。
17:30	退勤	翌日以降の業務を整理して退勤。

図書

何事もまず、 やってみる



Q 1 現在の仕事内容について

大学の研究成果物をインターネット上で公開する場「機関リポジトリ」の運営(データの作成、登録、広報など)と、国内雑誌の購読に関する業務(発注、書店との連絡調整など)を主に担当しています。また、大学院生に学習の質問や相談ができる「学習相談デスク」に関する業務や学習支援・研究支援のポータルサイトの運営にも携わっています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

機関リポジトリで公開した研究成果物や、図書館や学内研究室にある雑誌は、いずれも学習・研究を進める上での重要な参考資料になり得ます。このように、日々行っている業務が多くの学生や研究者の学習・研究生活を支えている、と実感できるところにやりがいがあります。

Q 3 職場の雰囲気について

自分の得意分野を活かして業務にあたっている人が多く、やりがいをもって楽しく仕事ができる職場です。また、学内外問わず様々な研修に参加できる環境が整っており、各々積極的に自己研鑽をして業務に還元したり、得た知見を職員間で共有したりしています。

千葉大学 附属図書館利用支援企画課
利用支援企画グループ 図書系職員

令和3年度採用

粒来 珠佑
ツブライ ミユウ

8:30	出勤	メールをチェックして、その日に行う業務を確認します。
	リポジトリ登録業務	タイトル・著者名・関連情報など、研究成果物に関するデータ(メタデータ)を作成し、研究成果物本体とあわせて登録・公開します。
12:00	お昼休み	学食や大学近くのごはん屋さんで昼食をとる人もいます。
13:00	研究支援に関する打ち合わせ	研究支援に関する打ち合わせは教職員合同で行っており、それぞれの専門知を活かしながら一緒に業務を進めています。
15:00	雑誌発注業務	次年度の雑誌購読について、学内の研究室・教員への希望調査を行い、回答をもとに書店への発注作業を行います。
17:15	退勤	今日中にやらなければならない仕事が残っていないかを確認してから退勤します。

技術職員
(施設系)

せつかくやるなら
楽しんで
仕事をしよう！



東京工業大学 施設運営部施設整備課
建築グループ スタッフ

小出 拓海
コイデ タクミ

令和元年度採用

Q 1 現在の仕事内容について

大学で発注した建物等の設計に伴う関係者との連絡調整や工事における現場監理です。設計においては、建物等を利用する様々なユーザーからの意見・要望をとりまとめて、設計事務所に伝える仕事をしています。工事においては、ゼネコン等が工事を行った現場が設計図どおりできているかどうかを確認・管理する仕事をしています。

Q 2 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

自分で工事発注用の図面を描いた現場が完成し、実際に利用者に利用してもらえるのがうれしい瞬間です。また施設系の仕事は、学内のインフラ（電気・給排水など）の工事も担当するため、大学活動におけるあって当たり前を提供し、縁の下の力持ちになっていることにやりがいを感じます。

Q 3 施設系業務の魅力について

企画・設計、工事及び維持管理等を通じて、公共建築とは一味違った施設のライフサイクルに一貫して携わることができることです。また、大学職員が直接これらの仕事を担当し、設計事務所やゼネコン等に大学の将来構想を適切に伝えられる立場にあることは、非常に良い環境だと感じています。

8:30	勤務開始	8:30からきちんと仕事が始められるよう、事前にパソコンの立ち上げや前日にまとめたやることリストを整理しています。
10:00	設計事務所との打合せ	その場で決まらないこともあります。その場合は上司に相談が必要になるため、自分が分からないところは分るまで確認するのがポイントです。
12:15～13:15	昼食	近くに飲食店やコンビニもあるため、外に買いに出ることもできます！
14:00	現場確認	設計図と現場で施工されているものに違いがないか確認しています。現場での確認ポイントは上司から教えてもらえる環境です！
16:00	上司への相談、方針の連絡	現場等で確認が必要な事項があればとりまとめた上で上司に相談します。写真等を用いて、その場の状況が伝わるように説明をするのが重要です。
18:00	退勤	翌日のやることリストをまとめた後に退勤するよう努めています。また退勤後は自己研鑽もできる環境です。

技術職員

(教育・研究支援系)



安全第一 確認作業を しつかりやる

Q₁ 現在の仕事内容について

農学部附属国際フィールド農学センターにて、農場の環境整備、学生実習補助(準備、片付け、学生対応)、牧草の栽培(耕うん、播種、施肥、収穫、収量調査)、果樹の業務補助(摘果、収穫、出荷)を行っております。また当センターはASIAGAP認定施設のため、農業管理責任者として、農業の使用状況の確認を行っております。

Q₂ 仕事をしていて感じる魅力ややりがいについて

農場で栽培した梨を大学の直売所で販売しており、お客様が早くから並んで、たくさん購入されるのを見るとうれしく感じます。小さかった梨が成熟し、商品としてお客様に手に取って頂けること、また自分が携わったものが大学の収益に繋がっていることにやりがいを感じます。

Q₃ 今後の夢や目標について

まだ知識も経験も乏しいですが、少しずつできることを増やして、先生方や学生の研究をサポートしていきたいと思います。そのために自己研鑽はもちろんですが、先生方や学生とコミュニケーションを取りながら良い関係性を築いていきたいと思っています。

茨城大学 学部等支援部阿見地区事務課総務グループ
技術職員

令和5年度採用

荒川 実香
アラカワ ミカ

8:30	出勤	ミーティング。昨日の業務の報告と今日の予定の確認。
9:00	業務	収穫、環境整備、機械整備、実習対応などその日の予定に沿って業務を進める。
12:00	昼食	
13:00	業務	午前中の業務の続き。
16:45	業務のまとめ	部屋に戻り、本日の業務について日誌に入力。明日の業務の確認。
17:15	退勤	



仕事も育児も、 スマートにこなす先輩職員

—— まずは、坂爪さんと小田原さんの業務内容を教えてください。

坂 爪 大学構内にいくつか学生宿舎があります。私の担当は主にその学生寮の管理です。入居者の選考に始まり、学生の日常生活のサポートや相談など、寮母さんの仕事内容をイメージして頂くと分かりやすいと思います。

小田原 財務、学務、人事、総務などを経て、現在は企画・広報室で働いています。執行部や教職員たちと議論しながら大学教育や大学運営の改革案や方向性といった意思決定への支援業務に携わっています。また、働き方改革提案チームの一員でもあります。



長岡技術科学大学
学生支援課生活支援係 係員

平成28年度採用

坂爪 日向子 サカツメ ヒナコ

—— 職場の働きやすさはいかがですか？

坂 爪 小規模な職場のおかげで職員同士の距離は近いしほぼ顔見知り。メールでも電話でも相手の顔を思い浮かべながら業務に向かえますし、祝日と土日の間に平日がサンドイッチされていたら「取れる人は休暇をとって連休にしてください」と上司が率先して有給取得促進のメールを送ってくれます。また、かつて私は学費の手続きで大失態をおかしましたがチーム一丸となって解決してくれましたし、それも今では笑いに変えてくれるなど、フォローやサポートもしっかりしています。職場の風通しはかなりいいと思います。

小田原 同じ、もしくは似たような業務を担っている人が同じ部署に複数人いるように配置されているので、お互いの仕事を協力し合えるような組織になっています。2日間連続で休暇を取得できるリフレッシュ休暇もありますし、語学、時間管理術、コミュニケーションなど、様々な研修が用意されていて、自分のキャリアやスキルアップに繋げる環境も整っています。最近では、人生の豊かさ、仕事の生産性や創造性の向上のために、自然と触れ合う環境の重要性が説かれていますが、本学周辺はもともと自然豊かなので、そういった点でも就労環境は恵まれていると思います。

—— 小田原さんは平成26年に10か月間と、平成28年10月に10か月間の2回。一方の坂爪さんは令和4年1月から1年3か月、育児休業を取得しています。

坂 爪 育児に限らず、お互い様の精神が根付いている職場なので、育児休業を取得することへの不安はまったくあ

りませんでした。ただ、異動の希望が通って文部科学省に1年出向して本学に戻ってきた後ですぐ産休・育休に入ったので、本学への職場復帰は実に2年半ぶり。正直、プランクが空き過ぎていて不安でしたが、復帰先も元いた部署と同じだったため、人間関係も職場環境にもすぐに馴染むことができました。こうした配慮は嬉しかったですね。それに、同じ部署に育児経験のある先輩がいるのも心強いです。

小田原 本学では子供が3歳に達するまで育児休業を取ることができます。令和元年から教員を対象に延長保育や病児・病後児保育等の保育サービス費用の一部を大学が支援する制度が導入されました。令和4年からはこの制度の支援対象が職員にも拡大され、より多くの教職員が制度を利用できるようになりました。育休期間中の給付金の支払い期間もこれまで1年だったのが最長2年と1年も延びています。男性職員の育児休業取得率も高まっていて、福利厚生を含めて、職場全体で働き方の多様性への理解やワークライフバランスの意識は年々高まっています。

——かなり柔軟な職場の印象を受けます。

小田原 そうですね。例えば、大学内に託児所を設置するかどうかの検討の一環で、令和5年の夏休みを利用して大学の施設内を使って数日間の一時託児の試みを行いました。私も二人の子供を参加させましたが、技術科学大学らしく先生たちが科学実験を盛り込んだアトラクションを提供してくれたり、学長室で学長と対談ができたりと、子供に自分の職場を見せることができたのはよい機会でした。周囲からも好評だったと聞いています。私は本学に入職して20年が経ちますが、働き方改革提案チーム然り、ワークライフバランス懇談会然り、以前にも増して私たち職員の声が届きやすくなっていますし、教職協働の意識も強くなっています。ダイバーシティ系の事業が採択された

子育てをしながらでも働きやすいですし、若手職員の意見を積極的に吸い上げてくれる風通しのいい職場環境だと思います。充実した学生生活を送るように、学生に近い立場で彼らを支援する大学事務は、変化の連続で毎日が刺激的です。これからも学生と関わりながらキャリアを重ねていきたいと考えています。



長岡技術科学大学

大学戦略課企画・広報室 専門職員

平成15年度採用

小田原 良美 オダワラ ヨシミ

ことが象徴するように、職場も時代に合わせた働き方へとシフトしつつあります。

——働きやすい職場環境で行う仕事はどうか。

小田原 私は2～3年くらいのスパンで異動してきました。だからこそ実感するのは、大学の業務は多岐に渡っていて、それらを経験できることは非常に面白いということです。特に今は、未来を担う人材育成に関わる業務に携わっているので、とてもやりがいを感じています。

坂 爪 若手職員の意見が反映された研修内容が提供されるなど、年齢や役職を問わず、いいものはいいと積極的に業務に反映してくれるので、モチベーションは上がりますし、成功体験を積みやすく自信にも繋がります。また、職場が職員一人ひとりのライフスタイルを配慮してくれるので、仕事はとてもしやすいですし、帰属意識も高まります。

就労環境を含めて、これからの時代にフィットする働き方になるよう様々な議論が行われています。1つの分野を掘り下げて専門性を高めるキャリアの積み方も魅力ですが、色々な業務に触れて知見と経験を広げていくのもまたキャリアの醍醐味です。ひとつの組織に様々な業務がある「大学職員」という仕事は、そのどちらも叶えてくれます。



私たちのキャリア形成

キャリアパス

係員として採用され、いくつかの部署を経験した後、勤務成績、年齢等を考慮して主任、係長、課長補佐、課長といった順に昇任します。人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。

経歴

令和4年10月1日～現在
総務部 人事企画課 人事評価係



東京医科歯科大学 総務部 人事企画課 人事評価係
一般職員

令和4年度採用

相馬 紗也香

ソウマ サヤカ

Q₁ 現在の仕事内容について

人事評価実施にあたってのシステム設定や評価依頼、関連資料の作成及び結果のとりまとめなどを行っています。また、人事評価結果をもとに、職員の昇給・昇格の実施や賞与額の算出も行っています。自身の担当した業務が職員の方の給与やキャリアに繋がるため、責任は重いですが、それと同時に組織の要でもある「人」に関わる業務でもあるので、大きなやりがいも感じています。その他、人事院勧告があった際に関連する学内諸規則の改定等も行っています。

Q₂ 就職前とギャップがあった点について

入職以前は、大学職員の業務内容＝学生に関するものというイメージが強かったのですが、実際には様々な部署や職種があることを知り、率直に面白そうだと感じました。ジョブローテーションを通じて様々な側面から大学運営に貢献できるのは、大学職員ならではの魅力だと考えています。また、私の働いている人事企画課は穏やかな人が多く、分からないことがあれば気軽に相談に乗っていただけるので、思っていた以上に働きやすい環境です。

Q₃ 今後の目標について

大学を取り巻く環境は日々変化しているため、常に視野を広げ探求心を持ちながら業務に励んでいきたいです。また、やってみたい業務としては、学生・研修医支援や先生方の研究支援など大学でしか経験できないような業務に携わってみたいと考えています。

経歴

令和5年4月～現在
事業部 教員免許課 資格認定試験係



教職員支援機構 事業部 教員免許課 資格認定試験係
一般職員

令和5年度採用

有坂 汐織

アリサカ シオリ

Q₁ 現在の仕事内容について

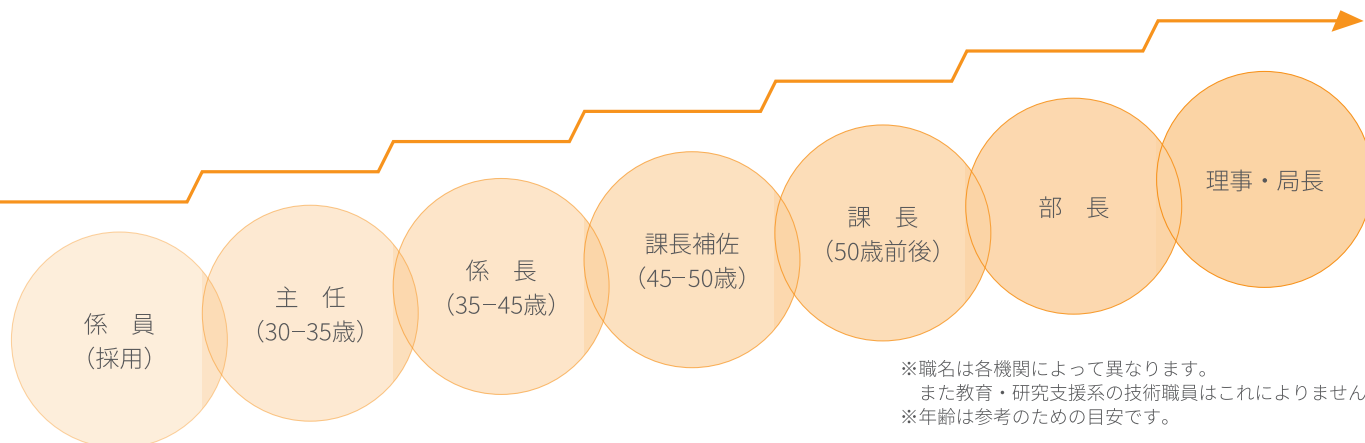
教員資格認定試験という教員免許を取得するための試験の事務を担当しています。業務内容としては、試験会場の手配や運営の準備など幅広く携わっています。また、試験業務に関わっている様々な方とのやり取りが欠かせないため、綿密に連絡を取り合います。この業務を行う上で、欠かせないのは正確性です。僅かなミスで大きな問題につながることもあるので、日頃から細心の注意を払っています。ただ、責任が大きい分、試験が無事に終了したときの達成感ややりがいも大きいです。

Q₂ 就職前とギャップがあった点について

今までは、試験を受験する側でしたが、仕事を進めていく上で、自分が受けてきた試験はこんな風に準備されていたのかと驚くことが多いです。受験者のことを考え様々なケースを想像しながら準備をしていくので、毎日たくさんの学びがあります。また、入前は試験業務を行っているの、厳しいイメージを想像していましたが、実際には優しい雰囲気の人が多く、和気あいあいとした職場でした。周りの方も、分からないことを聞いても優しく丁寧に教えてくださいます。

Q₃ 今後の目標について

今後は、今の係の仕事だけでなく、システム系など様々な分野の業務に携わってみたいと考えています。また、教育委員会など他機関への出向も経験したいです。多くの経験を積み、教職員支援機構の業務の中核を担えるような職員として成長していきたいです。



経歴

平成28年4月1日
宇都宮大学
財務部経理課経理企画係

平成30年4月1日
同 学務部修学支援課学部係

平成31年4月1日
同 学務部修学支援課教務係

令和2年3月1日
同 学務部修学支援課基盤教育係

令和3年4月1日
同 大学教育推進支援室基盤教育係

令和4年11月1日
同 大学教育推進支援室基盤教育係
主任

令和4年12月1日
同 学務部学部等
連携課程設置準備室学部等
連携課程設置準備係主任

令和5年4月1日
同 学務部新学部設置準備室
新学部設置準備係主任



宇都宮大学 学務部新学部設置準備室新学部設置準備係
主任

平成28年度採用

平出 純花

ヒライデ スミカ

Q₁ 現在の仕事内容について

新学部設置にかかる業務を担当しています。具体的には、ウェブサイトやパンフレット作成など広報に関する業務、オープンキャンパスや高校訪問の企画など学生募集に関する業務、履修案内や時間割表作成など教務に関する業務、さらには学部規程の検討など総務に関する業務など、幅広く担当しています。定型業務ではなく、新学部が円滑に開設できるように、常に必要なことを考えながら業務を進める必要があり、とてもやりがいを感じています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

令和4年度に担当した学部設置申請業務です。大学が新しい学部を設置するためには、あらかじめ文部科学省に関係書類を提出し、認可を受ける必要があります。限られた期間で、手引きに従って、さまざまな書類を作成する必要があり、はじめは非常に戸惑いましたが、教員や上司と協力しながら申請を完了し、設置が認められた際は、大きな達成感と喜びがありました。また、チームで業務に取り組むことの大切さを実感しました。

Q₃ 今後の目標について

常に広い視野を持ち、自分の業務にとらわれることなく、多くの情報を得ながら業務に取り組むことで、幅広い知識を身につけていきたいです。そして将来的には、大学の円滑な運営や発展に貢献出来る職員を目指していきたいと考えています。

経歴

平成29年10月1日
国立国語研究所
管理部研究推進課
研究支援グループ

平成31年4月1日
国文学研究資料館
管理部学術情報課 調査・管理係

令和2年2月10日
国文学研究資料館 管理部総務課
人事係

令和4年4月1日
国立国語研究所 管理部総務課
人事係

令和5年8月1日
国立国語研究所 管理部総務課
人事係主任



国立国語研究所 管理部総務課人事係
主任

平成29年度採用

清水 美紀子

シミズ ミキコ

Q₁ 現在の仕事内容について

職員の採用から退職までに発生する、任免(採用・退職・契約更新等)、保険関係、勤務時間管理、手当(通勤手当、住居手当等)の認定、給与の支給といった事務手続きを担当しています。外国人職員の場合は就労ビザの取得サポートも行います。滞りなく事務手続きを行うことで、研究プロジェクトの遂行や研究所の運営を担う大切な人材である職員の皆さんが安心してお仕事できる環境を支えることが私の役目だと考えています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

令和4年10月に非常勤職員の加入健康保険が協会けんぽから文科省共済組合に切替となったことが印象に残っています。保険料の額や給与から徴収される時期が変わったため、非常勤職員の方々が制度変更による戸惑い無く切替日を迎えられるよう、上司や周囲の職員と協力し、説明資料作成や問い合わせ対応、事務手続きに当たりました。全員に無事新しい保険証を渡すことができたときの安堵感が忘れられません。

Q₃ 今後の目標について

これまで上司や周囲に助けられてきた分、今度は自分が頼られる職員になることが目標です。そのためには、法律や内部規程等の知識を深めること・分かりやすく説明すること・質問しやすい雰囲気を作ることに努めながら、日々の業務をしっかり行いたいと思います。

私たちのキャリア形成

経 歴

平成26年10月1日
総務部総務課法規調査係
平成27年1月1日
学務部教育学部支援室学務係
平成28年9月15日
学務部教育学部支援室教育学部係
平成30年9月1日
財務部経理課理系学部等担当係
平成31年4月1日
財務部経理課理系学部等担当係主任
令和2年4月1日
財務部施設管理課企画係主任
令和3年7月1日
総務部総務課総務係主任
令和5年4月1日
総務部総務課総務係長



埼玉大学 総務部総務課総務係
係長

平成26年度採用

佐藤 洋一

サトウ ヨウイチ

Q₁ 現在の仕事内容について

定例で行うものとしては、全学的な会議や、入学式・卒業式といった式典の運営などが挙げられます。しかし、業務全体の中で多くの割合を占めているのが、大学全体の総務として、学内外の各方面からの問い合わせや要望に対応することです。これらには、前例や決まった答えがない場合が多いため、常にアンテナを張ることとともに、臨機応変さが求められます。道筋をつけるのが難しいこともありますが、周りの仲間に支えられ、学びの多い日々を送ることができています。

Q₂ 印象に残っている仕事について

埼玉大学では、近年さいたまスーパーアリーナにて入学式・卒業式を開催しています。このような大規模な会場で何かをすることといったことは減多にないため、準備から当日の運営まで携われるのは刺激的でした。式典が終了するまでの間、細かいところまで気を配らなければならないことが多く、かなり大変ではあったのですが、学生の晴れ晴れとした笑顔を見ることができ、努力が報われたと強く感じることができました。

Q₃ 一緒に働きたい職員について

大学職員は、職員同士ばかりでなく、学生や近隣住民といった様々な方と接する機会がありますので、相手の立場で考え、寄り添える方と一緒に働くことができればと思います。また、変化の激しい時代ですので、新しいことにも怯まずに挑戦できることが大切だと考えています。

経 歴

平成19年8月1日
総務部 総務課 広報調査係
平成19年10月1日
工学部 庶務係
平成21年4月1日
日本学術振興会 研究事業部
研究助成第一課 企画調査係
平成23年4月1日
日本学術振興会 研究事業部
研究助成第一課 研究助成第四係
平成24年4月1日
研究推進部 研究推進課 研究支援係
平成27年4月1日
国立大学協会 企画部 主任
平成29年4月1日
総務部 企画評価課 専門職員
令和2年1月1日
総務部 企画評価課 企画係長
令和4年4月1日
昭和地区事務部 経営企画課
経営分析係長
令和5年1月1日
総務部 企画評価課 副課長



群馬大学 総務部企画評価課
副課長

平成19年度採用

三木 智行

ミキ トモユキ

Q₁ 現在の仕事内容について

将来構想や大学改革に関する施策の企画立案、法人評価などの業務について部署間の調整を行うとともに、地域連携プラットフォームなど県内の大学間連携事業の企画、運営を行っています。日本学術振興会での科研費制度設計や、国立大学協会での大学改革に係る提言といった外部機関での業務経験を活かしながら課題解決に取り組み、教員と共に公募事業の申請書を作成したり、自治体職員や企業関係者と共に地域振興策を検討したりすることもあります。

Q₂ ターニングポイントとなった経験について

外部機関への出向を通じて大学が置かれている状況について客観的に見るできるようになり、大学マネジメントへの関心が高まりました。また、国立大学協会において学長経験のある理事から「これからの国立大学の成長は、広い視野をもって業務にあたってきた君たちの活躍にかかっている。」とのメッセージを受けたことが強い印象として残り、自分自身が大学の将来を作っていくという気概と覚悟を持つようになりました。

Q₃ 職員に求めることや期待することについて

大学の業務は複雑化・高度化しており、経営の効率化と透明性が求められています。一人一人の職員が社会の変化を迅速にとらえて柔軟に対応できる能力が必要だと思います。同時に、大学がどのような存在であるべきかを考えながら業務に取り組むことが、多様な大学のサステナビリティのために大事だと思います。

幅広い業務の経験と 着実にやり抜く意欲が 自己成長と 新しい世界を呼び込む

東京学芸大学 学務部学生課 課長

平成2年度採用

阿久津 元史

アクツ モトフミ

1年目～

小さな成功体験で自信と基礎力を積み上げる

最初に配属されたのは特殊教育研究施設です。10名程度と小規模でアットホームな職場環境のなか、教員の昇任人事補助や物品の管理・購入など、会計や庶務の基礎的な知識と実務経験を積むことができました。その後に配属された厚生課での担当業務は、大学業務の醍醐味の一つである学生支援。私は主に学研災手続きや学生アルバイト紹介などの仕事を担当していました。当時、他大学や近隣の相場などのマーケット調査を行った結果、本学の家庭教師の時給が近隣と比べて低かったことが判明し料金改定を提案。1000円の時給アップを実現するに至りました。最初の数年で、このような小さな成功体験を積み重ねる機会が得られたことで、仕事に対する自信を増すことができました。

5年目には、教員養成大学だからこそ体験できる附属小学校に配属されます。附属研究施設で培った会計や人事のスキルに磨きをかけつつ、近隣住民や保護者とのやり取りを通してコミュニケーション能力や傾聴力を養うことができました。8年目の文部省(現文部科学省)の体育局競技スポーツ課への併任ではメダル獲得選手への表彰など、組織ガバナンスに携わるチャンスも。課長と一緒に議員会館周りも経験し、議員が持つ人を惹きつける独特なオーラに直に触れたことも貴重な経験です。仕事は頂から裾野まで階層的に分かれていて、そのフロアごとで業務内容はもちろん、役割や責任も違ってきます。そして階層、キャリアを高めるには下支えとなる基礎力は不可欠。改めて自分の仕事を振り返ってみると、最初の10年は私の今を支えてくれる土台作りの時期だったのだと思います。

21年目～

大学全体の運営に関わりたい。 自己成長の先に待つ新しい世界

慣れ親しんだ学務課から畑違いの財務課へ。大学院室連合大学院係では大学全体の業務の流れを把握するに留まりましたが、ここでは監査法人とのやり取りを通して大学全体のお金の流れを学ぶ機会に恵まれました。その結果、業務とお金はどう結びついているのかについて触れることができました。このとき私が手掛けた「財務レポート」創刊号は、経営協議会の学外からも好評でしたし、今もその基本フォーマットは使われているのは嬉しいですね。

人事、庶務、会計、財務など、様々な経験を通して仕事力や信頼力が認められて、仕事も任せられるようになると、大学全体に関わる仕事に携わりたいと思うようになります。ここが私の第二のターニングポイントです。国際課はこれまた畑違いの分野でしたが、「キャンパス・アジア事業(特定の日中韓の大学の留学で二つの学位を取得できる)」の枠組みの確立に携わり、また、カンボジアに養護教諭を養成するプログラムでは、その体制基盤を整えることに成功しました。教員の海外スタディツアーの引率補助として、学生たちと香港や北京に行くことができ充実した3年間でした。

副課長から学生課の課長に昇任した2023年からは、課のマネジメントを担っています。業務の幅広さとやり抜いた先にある達成感と充実感、仕事を通じた自己成長など、キャリア形成の面白さを伝えつつ、職員一人ひとりの生活が豊かになるキャリアの歩み方や働き方を作っていけたらと考えています。



経歴

平成2年4月	東京学芸大学	教育学部附属特殊教育研究施設
平成4年4月	同	厚生課厚生係
平成5年4月	同	厚生課就職係
平成6年4月	同	付
平成7年4月	同	教育学部附属学校竹早地区事務係(小学校担当)
平成10年4月	(併任)文部省体育局競技スポーツ課体育局 2022年ワールドカップ準備室(平11・3月まで)	
平成11年4月	東京学芸大学	経理部契約第一係
平成12年4月	同	経理部契約第二係
平成15年4月	同	学務部大学院室連合大学院係
平成16年4月	同	大学院課博士課程系主任
平成17年11月	同	学務課博士課程系主任
平成19年4月	日本学術振興会	総務部経理課専門職員(契約担当)
平成20年4月	東京学芸大学	学務部学務課大学院室博士課程係長
平成23年7月	同	財務施設部財務課決算係長
平成26年4月	同	財務施設部財務企画第一係長
平成29年4月	同	学務部国際課専門職員
平成29年7月	同	学務部国際課副課長
令和2年4月	同	財務・研究推進部財務課副課長
令和4年4月	同	学務部学生課長

11年目～

部分から全体へ。全体を見渡す重要性和 人脈の価値を実感する

新宮の建物の一般入札や海外との取引、新たな財務会計システムのマニュアル作成など、より一層仕事の面白さを肌で感じた経理部。ここを経て就いた学務部大学院室連合大学院係は、ある意味、キャリアのターニングポイントです。東京学芸大学は4大学連合大学院教育学研究科の基幹大学で、研究科の運営に必要なすべての業務を担う連合大学院係が設置されていたため、研究科長選挙を含め、その業務は多岐に渡ります。大学院という限られた世界でしたが、それまで部署の仕事に掘り下げるといった専門性を高めていくやり方しか知らなかった私が、ここではじめて、1年間の仕事の流れを意識しながら業務に臨むようになりました。

新たな仕事への意識が芽生えた私は、係長に昇任するにあたり、経理課の契約担当専門職員として日本学術振興会に出向します。2007年の頃です。様々な大学から出向してきた人たちの集まりだったため、仕事の文化が違い過ぎて衝突したりルールを統一することからはじめたりと、頭を悩ます機会も多かったです。ですが、そうした苦労とともに分かち合ったからこそ、彼らとの絆がより一層に深まったと感じています。1年後に東京学芸大学に戻って、大学HPの構築や働き方のアップデートに迫られた際も、日本学術振興会で築いた人脈のおかげで何とか乗り切ることができました。ひとりで達成できる仕事はありませんし、今もそうですが、役職が上がるほど、人脈の重要性を事あるごとに痛感させられます。

メッセージ

国立大学法人で働くことの醍醐味は、教員や学生と事務職員、産業界と教職員、同じ課や他大学の教職員など、様々な人々との繋がり。それぞれの仕事の役割のなかで、切磋琢磨しながら成長し続けられることです。また、社会情勢が変化するなか、学生支援、外部資金調達、研究支援など、求められる仕事の役割も多様化しています。様々な課題を乗り越えて成功体験を積み上げながら躍動できるフィールド、それが国立大学法人の職場です。是非、飛び込んでみてください。



> キャリアデザイン（研修）

グローバルSD研修について

Q 1 研修の内容について

本研修は、マレーシア・ペナン島の現地大学において、語学研修や実務研修などを行うものです。語学研修では、業務上の様々なシチュエーションを想定した実践的な英語学習を行いました。実務研修では、参加者が各部署に分かれ、現地での実務を学びました。当時、私は寮務係に所属していたので、学生寮の業務を体験できました。

Q 2 研修経験が業務等で活かされている点

本校の寮には留学生が約20人います。実務研修では、言葉の壁を感じて現地の学生やスタッフと思うようにコミュニケーションがとれず、苦労した場面があったことから、改めて留学生の大変さを実感しました。その経験から、研修後はこれまで以上に留学生側に立ってサポートしたいという気持ちで業務に取り組むようになりました。

茨城工業高等専門学校 総務課研究協力・地域連携係 一般職員

令和3年度採用

箱守 翔平

ハコモリ ショウヘイ



> キャリアデザイン（人事交流）

人事交流先機関：大学改革支援・学位授与機構

Q 1 人事交流先機関での仕事内容について

国立大学評価室という部署で、第3期中期目標期間の国立大学法人教育研究評価に関する業務を担当していました。具体的には、評価者との連絡調整や各大学の評価報告書のチェック、委員会の日程調整、開催等です。その他、第4期中期目標期間の同評価で使用する、オンラインシステムの検討等にも携わらせていただきました。

Q 2 人事交流経験前と経験後での価値観の変化 人事交流を通じて学んだこと

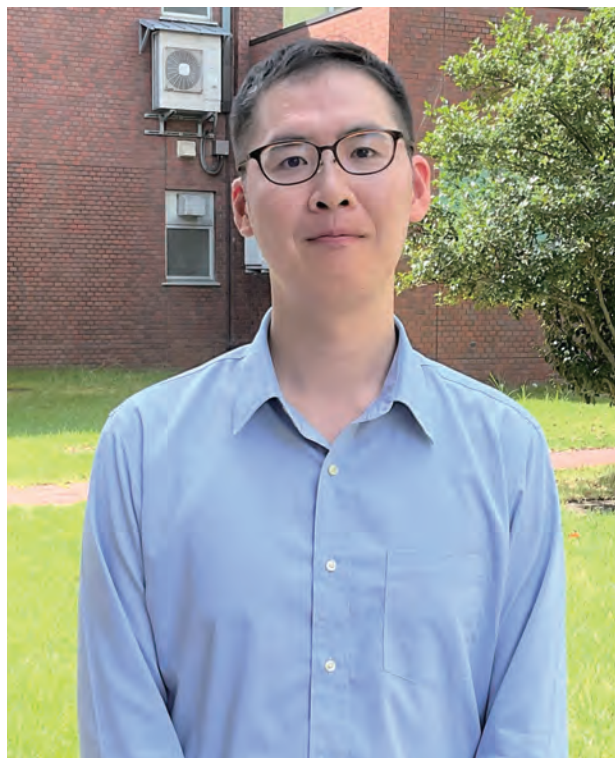
大学改革支援・学位授与機構では、全国から集まった他大学の職員と一緒に仕事をさせていただきましたが、周囲の職員の知識の量、仕事の速さなどを目の当たりにし、自身の仕事への意識が変わったように思います。また、大学では担当業務にばかり目が行きがちでしたが、人事交流経験により、以前より広い視野で物事を考えられるようになったと感じています。

上越教育大学 経営企画課経営企画チーム 主任

平成24年度採用

山田 佳寛

ヤマダ ヨシヒロ



私たちのワーク・ライフ・バランス

仕事と子育てのバランスのとれた充実ライフ

work life balance

育休

childcare leave

Q₁ 産休、育休中に印象に残っている出来事

周りの大きなサポートにより引き継ぎもスムーズに行われ、安心して産休・育休をとることが出来ました。約2年間、子育てや家事等に追われつつ、時間を有意義に使い、子供と沢山触れ合うことが出来ました。子供との生活は毎日新しい発見や驚きがあり、コロナ禍により不安なことも多かったですが、喜びをともにしながら自分自身も成長出来ました。

Q₂ 産休、育休から復帰後に心掛けていること

復帰後は子どもが体調不良の時の世話等でお休みが度重なることが多いですが、在宅勤務の利用や看護休暇、育児時間等の取得に加え、周りの温かいサポートを支えに乗り切ることが出来ています。日々の業務では一つ一つ集中して取り組み、子育てやプライベートでは無理せず気楽に、ONとOFFを上手く切り替えながら、バランスを大切に過ごしています。

電気通信大学 学務部学生課経済支援係
主任

平成26年度採用

渡邊 涼子

ワタナベ リョウコ



あっという間の育休6か月。取得が普通の世の中へ

work life balance

育休

childcare leave

Q₁ 育児休暇をとろうと思ったきっかけ

きっかけもなにも、逆に、なんで取らないの？と言われるくらい世の中ですごくいいと思っています。その点、当法人職員は、育休中には代替職員の募集をかけて補充もありますし、育休が取得しやすい環境だと思います。私は、普段から家事をしていましたが、育児も一緒にするのは当然という気持ちで、自然と育休を取得する流れになりました。

Q₂ 育児休暇を取ってよかったと思うこと

抱っこやおむつ替えの方法、ミルクの上げ方に沐浴のさせ方等、育休を取ってしっかり学んでよかったなと思います。特に3時間おきのミルクは、仕事しながらは絶対に無理でした。コロナ禍により、娘誕生の瞬間には立ち会えず、テレビ電話になってしまいましたが、その後の娘の成長を妻とともに実感できたことは、何事にも代えがたい時間だと思っています。

木更津工業高等専門学校 学生課教務係
主任

平成22年度採用

熊倉 拓哉

クマクラ タクヤ



私たちのワーク・ライフ・バランス

新たな自分を求めて

work life balance

転職

change jobs

Q₁ 国立大学法人等に転職を決めた理由

前職では、地方公共団体の職員としてインフラ関係業務に従事していました。インフラ維持には、それをサポートする人の手が不可欠であり、当たり前前の生活を守ることの難しさを日々感じていました。そんな折、コロナ禍においても各大学が様々な制限の下、教職員が一体となって創意工夫をこらしながら学生生活を守るための運営に全力を尽くされていることをニュースで知り、私が今まで培ってきた経験や能力を活かして教育という別の社会インフラの維持ひいては発展に貢献できればと思い、転職を決意しました。

Q₂ 転職を考えている人へのアドバイス

この記事を見ているということは何かしらの理由で転職を考えているのだと思います。国立大学法人等は教育、研究、社会貢献など多様な業務を行っています。また、福利厚生が充実しているため、仕事とプライベートを両立したい人にはおすすめです。あなたが自ら選び掴み取った未来で共に働けることを心待ちにしております。

東京海洋大学 学務部学生サービス課学生生活係員

令和3年度採用

工藤 大空

クドウ ヒロタカ



明日のために、まず運動を

work life balance

趣味

hobby

Q₁ 趣味について

週に1、2回程度ボクシングジムでトレーニングしています。ボクシングの魅力は何といってもサンドバックやミットなどの目標物めがけて力いっぱいパンチを打ち込むことにより、拳を通して全身に伝わる衝撃を感じられることです。適度な疲労感の中で自分自身と向き合う時間はとても貴重なものです。

Q₂ 仕事と趣味を両立するための工夫

仕事と趣味を両立するうえで1番大事なことは、「退勤後は仕事のことを考えない」ことだと考えています。仕事が終わっても延々と悩み続けていると、運動にも身が入りませんし、何より健康を害してしまいます。適度に運動し、脳をリセットさせることで、翌日にフレッシュな頭で仕事に取り組むことができると思います。

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部国際課
高等教育情報室外国教育情報第1係
係員

平成27年度採用

久野 喬

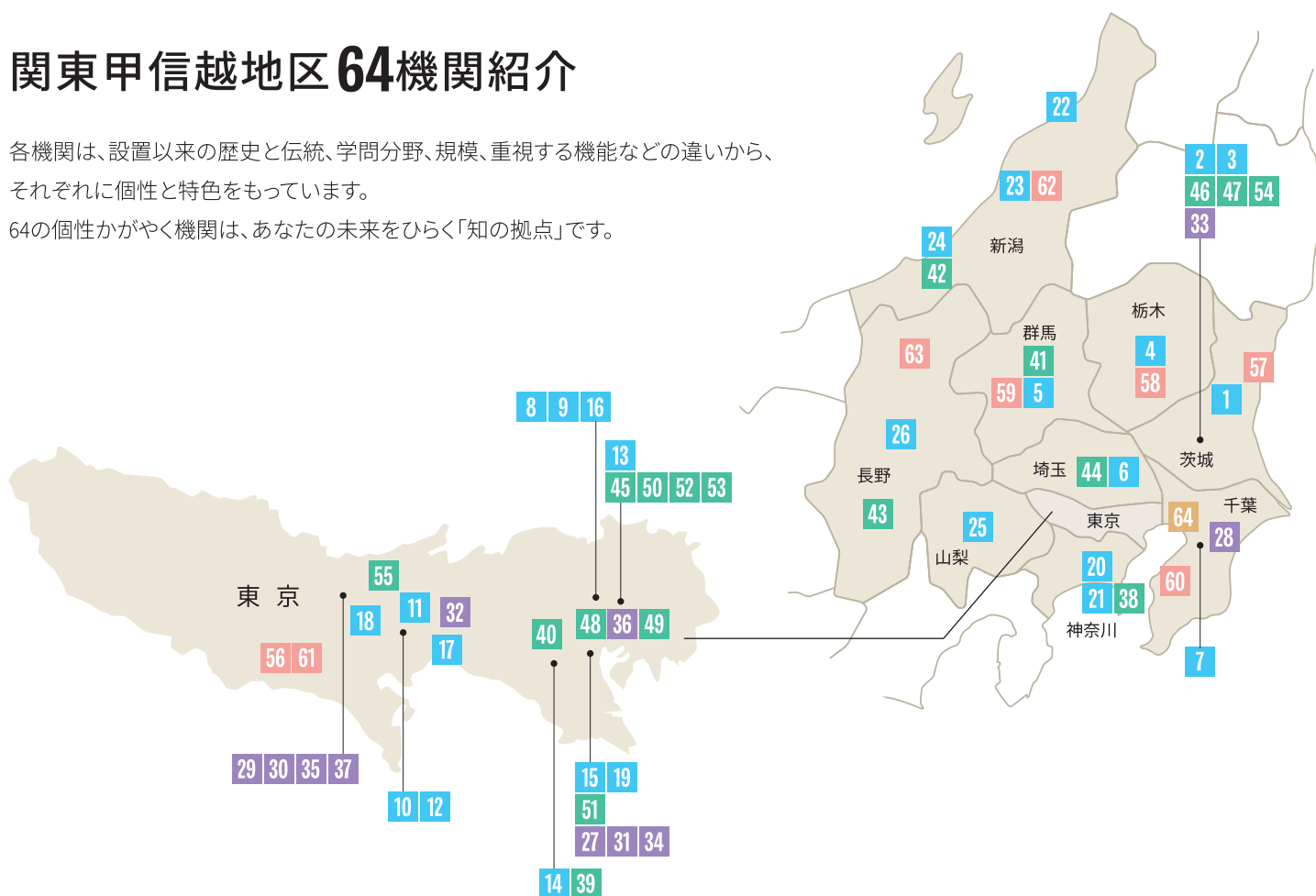
ヒサノ タカシ



関東甲信越地区64機関紹介

各機関は、設置以来の歴史と伝統、学問分野、規模、重視する機能などの違いから、それぞれに個性と特色をもっています。

64の個性かがやく機関は、あなたの未来をひらく「知の拠点」です。



国立大学法人

1	茨城大学	P28
2	筑波大学	P28
3	筑波技術大学	P28
4	宇都宮大学	P28
5	群馬大学	P28
6	埼玉大学	P29
7	千葉大学	P29
8	東京大学	P29
9	東京医科歯科大学	P29
10	東京外国語大学	P29
11	東京学芸大学	P29
12	東京農工大学	P30
13	東京藝術大学	P30
14	東京工業大学	P30
15	東京海洋大学	P30
16	お茶の水女子大学	P30
17	電気通信大学	P30
18	一橋大学	P31
19	政策研究大学院大学	P31
20	横浜国立大学	P31
21	総合研究大学院大学	P31
22	新潟大学	P31
23	長岡技術科学大学	P31
24	上越教育大学	P32
25	山梨大学	P32
26	信州大学	P32

大学共同利用機関法人

27	人間文化研究機構事務局	P32
28	国立歴史民俗博物館	P32
29	国文学研究資料館	P32
30	国立国語研究所	P33
31	自然科学研究機構事務局	P33
32	国立天文台	P33
33	高エネルギー加速器研究機構	P33
34	情報・システム研究機構	P33
35	国立極地研究所	P33
36	国立情報学研究所	P34
37	統計数理研究所	P34

独立行政法人

38	国立特別支援教育総合研究所	P34
39	大学入試センター	P34
40	国立青少年教育振興機構	P34
41	国立赤城青少年交流の家	P34
42	国立妙高青少年自然の家	P35
43	国立信州高遠青少年自然の家	P35
44	国立女性教育会館	P35
45	国立科学博物館	P35
46	物質・材料研究機構	P35
47	防災科学技術研究所	P35
48	東京国立近代美術館	P36
49	国立映画アーカイブ	P36
50	国立西洋美術館	P36
51	国立新美術館	P36
52	東京国立博物館	P36
53	東京文化財研究所	P36
54	教職員支援機構	P36
55	大学改革支援・学位授与機構	P36

独立行政法人 国立高等専門学校機構

56	国立高等専門学校機構本部事務局	P36
57	茨城工業高等専門学校	P37
58	小山工業高等専門学校	P37
59	群馬工業高等専門学校	P37
60	木更津工業高等専門学校	P37
61	東京工業高等専門学校	P37
62	長岡工業高等専門学校	P37
63	長野工業高等専門学校	P38

特別な学校法人

64	放送大学学園	P38
----	--------	-----

各機関の紹介

関東甲信越地区の全64機関の紹介です。
求める人物像やメッセージも掲載していますので、
ぜひ、参考にしてください。
(職員数はR5.5.1現在)

- 国立大学法人
- 大学共同利用機関法人
- 独立行政法人
- 独立行政法人 国立高等専門学校機構
- 特別な学校法人



1

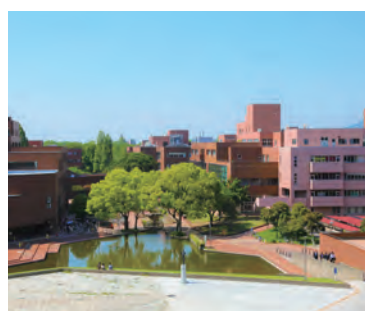


国立大学法人 茨城大学

**学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、地域が元気になる、
ダイバーシティを活かした大学に**

茨城大学は、1949年5月に開学した70年を越える歴史をもつ総合大学です。知の拠点として地域社会と協力し、学生がたくましく育つ大学、世界で特色が輝く大学をめざします。本学では、若い皆さんの感性による柔軟な発想、チャレンジ精神、向上心を活かした大胆な行動力を期待しています。新しい時代の大学として変化を続ける茨城大学を支えていきたいという志のある方を求めています。

■ 〒310-8512
茨城県水戸市文京2丁目1番1号
■ 総務部人事労務課(採用担当)
☎ 029-228-8014
■ 全教職員数(常勤)868名
(うち 事務職員206名、
図書職員7名、技術職員40名)



2



国立大学法人 筑波大学

**【IMAGINE THE FUTURE.】
～私たちと一緒に未来を創造していきましょう！**

筑波大学は、研究学園都市筑波の地で、常に創造的な挑戦を続ける「未来構想大学」として、国境や機関などあらゆる壁を越える「トランスポーター大学」への飛躍を目指して改革を続けています。本学が様々な分野で新しい挑戦や改革を進めていくためには、新しい感性を持ったみなさんの力が不可欠です。「未来のプロトランナー」筑波大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

■ 〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
■ 総務部人事課(事務系任用)
☎ 029-853-2090・2091
■ 全教職員数(常勤)5,395名
(うち 事務職員1,152名、
図書職員46名、技術職員251名)



3



国立大学法人 筑波技術大学

聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関

筑波技術大学は、聴覚障害者と視覚障害者のためのわが国唯一の高等教育機関として1987年に設立された大学であり、聴覚障害者が学ぶ産業技術学部と視覚障害者が学ぶ保健科学部の2学部から構成されています。本学職員に特別な能力は必要ありません。社会人としての基本的能力や変化に対応できる柔軟性に加え、自立した学生を社会に送り出すためのサポートができる方をお待ちしています。

■ 〒305-8520
茨城県つくば市天久保4-3-15
■ 総務課人事係
☎ 029-858-9308・9309
■ 全教職員数(常勤)170名
(うち 事務職員47名、図書職員2名、技術職員10名)



4



国立大学法人 宇都宮大学

最高にちょうどいい! そんな距離感と規模感の大学

宇都宮大学は、「地域とともに学生の未来をつくり、学生とともに地域の未来をつくる」この方針の下、栃木県唯一の国立総合大学として、地域の知の拠点、地域活性化のエンジンとなるべく、教職員一丸となって大胆な改革に挑戦しています。最先端の研究設備や豊かな自然がある、最高にちょうどいい!宇都宮大学で自ら考え行動できる方、是非一緒に働きましょう!

■ 〒321-8505
栃木県宇都宮市峰町350
■ 総務部総務課人事総括係
☎ 028-649-5022
■ 全教職員数(常勤)615名
(うち 事務職員144名、
図書職員2名、技術職員56名)



5



国立大学法人 群馬大学

群を抜け 駆ける世界を

群馬大学は、4学部、5大学院のほか、医学部附属病院、生体調節研究所、重粒子線医学推進機構などを擁する北関東を代表する総合大学です。教員、技術職員、事務職員が一丸となって成果を生み出すためには、事務職員は支援者ではなく、牽引者でなければなりません。情熱とチャレンジ精神を持って仕事に取り組み、より良い群馬大学を目指していける方と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

■ 〒371-8510
群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
■ 総務部人事労務課人事企画係
☎ 027-220-7024・7031
■ 全教職員数(常勤)2,447名
(うち 事務職員354名、
図書職員5名、技術職員71名)





6



国立大学法人 埼玉大学

働きやすさもやりがいもギュッと詰まって All in One

埼玉大学は埼玉県下唯一の国立大学です。都心近くに位置しながら緑豊かで広々とした環境で、「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化～」を掲げ、組織の枠、学問の枠を超えた機能強化を図っています。

埼玉大学では役教職員が顔の見える環境で一体となって働く協調性や柔軟な発想力のある方を求めています。未来の埼玉大学を共に創っていきましょう！

■〒338-8570
埼玉県さいたま市桜区下久保255
■総務部人事課人事第一係
☎ 048-858-3009
■全教職員数(常勤)728名
(うち 事務職員174名、
図書職員4名、技術職員41名)



7



国立大学法人 千葉大学

つねに、より高きものをめざして

千葉大学では、グローバル人材育成プラン「ENGINE」の下、令和2年から全学生に留学を必修化しています。またデータサイエンティストを育成する「情報・データサイエンス学部」及び「情報・データサイエンス学府」を令和6年に開設します。

「つねに、より高きものをめざして」という理念の下、世界に冠たる千葉大学を目指し弛みない挑戦を続ける本学で、あなたも活躍してみませんか？

■〒263-8522
千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33
■総務部人事課人材戦略係
☎ 043-290-2028
■全教職員数(常勤)3,556名
(うち 事務職員607名、
図書職員16名、技術職員129名)



8



国立大学法人 東京大学

創りたい未来がある。語りたい使命がある。

東京大学は、世界の公共性に奉仕する総合大学として、「優れた多様な人材の輩出」と「地球規模の課題解決」を目指し、新たな大学の構築に向けて教職協働で改革の真っ最中です。より良い未来社会の創造に向け、職員一人ひとりの力が東大を動かします。多様な構成員とチームワークで協働し、柔軟な姿勢で業務改革に意欲的に取り組めるみなさんをお待ちしております！

■〒113-8654
東京都文京区本郷7-3-1
■本部人材育成課職員採用チーム
☎ 03-5841-2317・1975
■全教職員数(常勤)8,192名
(うち 事務職員1,485名、
図書職員147名、技術職員548名)



9



国立大学法人 東京医科歯科大学

世界に冠たる医療系総合大学へ

東京医科歯科大学は、昭和3年に設置された東京高等歯科医学校から歴史が始まり、それぞれ2つの大学院・学部・研究所を擁する日本唯一の医療系総合大学です。

本学は小規模ではありますが、教員、医療職員、事務職員が一丸となって前進しつづける活気のある大学です。※本学は東京工業大学と2024年度中の統合を目指しています。

■〒113-8510
東京都文京区湯島1-5-45
■総務部人事企画課人材育成係
☎ 03-5803-5020
■全教職員数(常勤)3,116名
(うち 事務職員680名、
技術職員41名)



10



国立大学法人 東京外国語大学

多様性を力に変え、多文化共生に寄与する

2023年に建学150周年を迎えた本学は、外国の言語とそれを基底とする文化、国際的な問題について教育・研究を行ってきました。小規模ながらも国際色豊かな本学は、幅広い業務経験や語学研修の機会に富み、一人一人が大きく飛躍できる可能性に満ちています。世界各地からの学生とともに成長する喜びと一緒に感じてみませんか？好奇心・チャレンジ精神旺盛な方のご応募をお待ちしております。

■〒183-8534
東京都府中市朝日町3-11-1
■総務企画部人事労務課人事事務係
☎ 042-330-5127
■全教職員数(常勤)386名
(うち 事務職員105名、
図書職員7名、技術職員6名)



11



国立大学法人 東京学芸大学

『教育の総合大学』～教員養成系大学・学部の中核的役割を担う～

本学は、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とし、学校教育とその周囲を支える教育マインドをもった人材を育成する「教育の総合大学」を目指しています。

本学の使命である教育者養成は、未来を担う子どもを育てる人材を育てるという非常にやりがいのある仕事です。私たちと一緒に教員と協働しながら、大学や学生の更なる成長を支えていきましょう。

■〒184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-329-7124
■全教職員数(常勤)843名
(うち 事務職員196名、
図書職員8名、技術職員12名)





12 TAT 国立大学法人 東京農工大学

地球をまわそう。
MORE SENSE! 農工大

東京農工大学は農学、工学及びその融合領域における教育研究を通じて世界トップレベルの大学を目指し、全員で改革に臨む活気溢れる大学です。誰でも大学づくりに参加できる本学では、社会・世界を見据えた、意義ある仕事に取り組むことができます。武蔵野に位置する、自然と造形にあふれた職場で、皆さんの持つ可能性、力を存分に発揮して、世界を舞台に活躍する大学と一緒に創り上げていきませんか。

■〒183-8538
東京都府中市晴見町3-8-1
■総務部人事課任用係
☎ 042-367-5509
■全教職員数(常勤)629名
(うち 事務職員166名、
図書職員7名、技術職員46名)



13 国立大学法人 東京藝術大学

芸術には無限の可能性が秘められており、
本学が果たす役割は一層高まっています。

東京藝術大学は世界にも類を見ない総合芸術大学です。本学は、次代の芸術家の育成や我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たすことが求められていますが、大学を取り巻く環境が大きく変化し、新たな課題も増えています。その課題と一緒に解決することのできる、若い力を求めています。本学では、各種研修のほか学生の研修旅行に同行し奈良・京都の古美術を学ぶプログラムも実施しています。

■〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
■総務課人事係
☎ 050-5525-2016
■全教職員数(常勤)450名
(うち 事務職員150名、
図書職員12名、技術職員11名)



14 国立大学法人 東京工業大学

日本の東工大から、世界のTokyo Techへ

東京工業大学は、創立140年を迎えた歴史をもつ国立大学であると同時に、世界の中でトップ100に入る、我が国を代表する理工系大学です。指定国立大学法人の指定を受け、さらなる飛躍に向かう、教職員・学生・同窓生一丸の「Team東工大」。その一員として東工大の歴史と一緒に創っていきましょう! ※本学は東京医科歯科大学と2024年度中の統合を目指しています。

■〒152-8550
東京都目黒区大岡山2-12-1
■総務部人事課人事管理グループ
☎ 03-5734-2046
■全教職員数(常勤)1,713名
(うち 事務職員509名、
図書職員19名、技術職員106名)



15 国立大学法人 東京海洋大学

我が国唯一の海洋系総合大学として、
世界最高水準の卓越した大学を目指す

東京海洋大学は、東京商船大学と東京水産大学が統合して誕生した、140年を越える長い歴史と格式の高い伝統を有する我が国唯一の海洋系総合大学です。

小規模大学の本学では教育・研究を支える職員の役割は重要で、様々な場面で活躍する機会があります。今後は更に国際化・高度化の要請に応えるため多様な人材育成の推進を図っており、一緒に大学を創る力を求めています。

■〒108-8477
東京都港区港南4-5-7
■総務部人事課任用・給与係
☎ 03-5463-0356
■全教職員数(常勤)470名
(うち 事務職員138名、
図書職員6名、
技術職員80名(船員含む))



16 国立大学法人 お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は、学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、
真摯な夢の実現される場として存在する

お茶の水女子大学は、日本最初的女子高等教育機関として1875年に開校され、以来、女子最高学府としての使命を担っており、現在もわが国と世界の未来を担う女性の育成に取り組んでいます。また、男女共同参画もいち早く手がけ、教職員のおよ半数が女性となっています。そのほか、ノー残業デーの実施や職員の早出遅出勤務など職員の働きやすい環境の整備も進んでいます。

■〒112-8610
東京都文京区大塚2丁目1番1号
■人事労務課人事担当
☎ 03-5978-5109
■全教職員数(常勤)482名
(うち 事務職員92名、
図書館職員7名、技術職員10名)



17 UEC 国立大学法人 電気通信大学

～私たちが思い描くSociety 5.0、
すなわち「共創進化スマート社会」の実現に向けて～

電気通信大学は2018年に創立100周年を迎えました。本学ではさたる未来社会(Society 5.0)を「共創進化スマート社会」と定義し、その実現に向けて、最先端科学・技術の教育と研究を加速させています。京王線調布駅徒歩5分に位置し、緑豊かな恵まれたキャンパスです。私達と一緒に学生、教員を支え大学の未来に向けて活躍して下さる方をお待ちしております!

■〒182-8585
東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
■総務部人事労務課人事企画係
☎ 042-443-5021
■全教職員数(常勤)537名
(うち 事務職員112名、
図書館職員7名、技術職員10名)





18



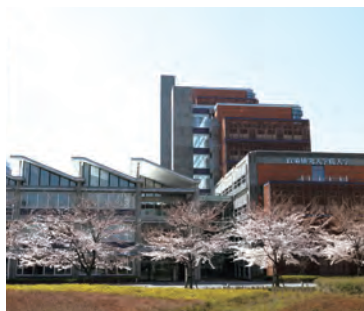
国立大学法人 一橋大学

"Captains of Industry ~知と業(わざ)のフロンティア~"

一橋大学では

- 世界最高水準の先端的研究・教育拠点としてさらなる発展を目指すため、自らが大学運営の担い手として、教員と一体となって業務に取り組む意欲がある人
- 様々な課題に対して、柔軟な姿勢で臨機応変な対応がとれる人
- 人の成長やスキルアップ、キャリアアップを積極的にサポートできる人
- 一橋大学に愛着と帰属意識を持ち、高い志を持って職務を遂行できる人を求めています。

■〒186-8601
東京都国立市中2-1
■総務部人事課人事係
☎ 042-580-8023
■全教職員数(常勤)669名
(うち 事務職員238名、
図書職員20名、技術職員4名)



19



国立大学法人 政策研究大学院大学

知の探究を通じてSDGsに貢献する 国際的な政策研究・教育の拠点

政策及び政策の革新にかかわる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治と高度化に貢献するというビジョンのもと、政策に関する研究・教育の両面において卓越した拠点となることを目指す大学院大学です。職員はフレックスタイム制をとっており働きやすい職場です。積極性・柔軟性・創造力をバランス良く備えた人材を求めています。一緒に大学を作っていきましょう!

■〒106-8677
東京都港区六本木7-22-1
■組織マネジメント課
☎ 03-6439-6019
■全教職員数(常勤)141名
(うち 事務職員68名、
図書職員3名)



20



国立大学法人 横浜国立大学

知の統合型大学として、世界水準の研究大学を目指して

本学は、現実の社会との関わりを重視する「実践性」、新しい試みを意欲的に推進する「先進性」、社会に大きく門戸を開く「開放性」、海外との交流を促進する「国際性」を建学から培われた精神として掲げ、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじ、世界の学術研究と教育に重要な地歩を築くべく、努力を重ねることを宣言しています。世界水準の研究大学を共に築いていきましょう。

■〒240-8501
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤
台79番1号
■総務企画部人事・労務課任用係
☎ 045-339-3022
■全教職員数(常勤)976名
(うち 事務職員238名、
図書職員9名、技術職員46名)



21



国立大学法人 総合研究大学院大学

神奈川県葉山で世界トップレベルの研究と教育を支えています

本学は学術研究の新しい流れに対応できる視野の広い創造性豊かな研究者を養成することを目的に、日本初の学部をもたない博士課程だけの“大学院大学”として設立され、日本の優れた人材と研究環境を有する大学共同利用機関等との緊密な連係・協力のもと運営されている独創的な大学です。学生は葉山キャンパスのほか各地の大学共同利用機関等で日々、勉強・研究に励んでいます。

■〒240-0193
神奈川県三浦郡葉山町
(湘南国際村)
■総務課人事係
☎ 046-858-1510
■全教職員数(常勤)57名
(うち 事務職員40名、
図書職員1名)



22



国立大学法人 新潟大学

私が支えたい大学は、新潟を支えている

新潟大学は自律と創生を理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを目的としています。本学では、プロフェッショナルとして主体的に組織運営の企画・立案・実行を担う人材を求めています。大規模総合大学である本学だからこそ、周囲と連携しつつ、多様な業務経験の中で自己を高めることができます。自然きらめくキャンパスで、あなたの力を発揮してみませんか?

■〒950-2181
新潟県新潟市西区五十嵐二の町
8050番地
■総務部人事企画課人事係
☎ 025-262-7615
■全教職員数(常勤)3,125名
(うち 事務職員410名、
図書職員12名、技術職員119名)



23



国立大学法人 長岡技術科学大学

"技学"を先導し、持続可能な社会の実現に貢献する

長岡技術科学大学は、未来社会で持続的に貢献する実践的・創造的能力と奉仕の志を備えた指導的技術者を養成することを理念とし、地域社会及びグローバル社会に不可欠な大学を目指しています。教職員の距離が近く、若手職員も企画・運営に参画して各々の力を発揮しています。新しいことにも意欲と勇気をもって挑戦する方を求めています。私たちとともに未来社会を築く技術者を育てていきましょう。

■〒940-2188
新潟県長岡市上高岡町1603-1
■総務課人事労務室人事係
☎ 0258-47-9205
■全教職員数(常勤)369名
(うち 事務職員125名、
図書職員3名、技術職員30名)





24



国立大学法人 上越教育大学

ぜったい先生になりたい人と先生のための大学！

上越教育大学は、初等教育教員の養成と教員の更なる資質能力の向上を主目的とした教育大学です。小規模な大学のため、教職員間の距離が近く、アットホームで和やかな雰囲気職場です。①コミュニケーションを大切に、②意欲的に業務に取り組む③明るく元気な方を求めています。『未来を担う子ども達のための教員を育てる』上越教育大学を私たちと一緒に更に素晴らしい大学にしていきたいと思います。

■〒943-8512
新潟県上越市山屋敷町1番地
■総務課人事・労務チーム
☎ 025-521-3217・3218
■全教職員数(常勤)294名
(うち 事務職員97名、
図書職員4名、技術職員6名)



25



国立大学法人 山梨大学

地域の中核、世界の人材

山梨大学は教育・医・工・生命環境の4つの学部と大学院からなる、山梨県唯一の国立大学で、専門分野に特化したセンター等での先端的な研究活動を行っています。組織が小規模な分、意思決定が早く、組織の隅々まで活性化している元気のある大学です。若手職員も協働して企画にかかわり、それぞれの力を発揮しています。山梨大学の未来をともに創っていきましょう。

■〒400-8510
山梨県甲府市武田4-4-37
■人事部人事課任用・事務グループ
☎ 055-220-8742・8008
■全教職員数(常勤)2,141名
(うち 事務職員264名、
図書職員5名、技術職員69名)



26



国立大学法人 信州大学

信州の「知の森」を、ともに

緑豊かな信州に5つのキャンパスを有した信州大学は、地域社会や産業界と連動した活動を積極的に展開し、直近の地域貢献度ランキングでは第2位に。先鋭領域融合研究群を中心に世界的な教育研究を行うとともに、多分野にわたる全国的な教育研究拠点として活動をし、「最も学んでみたい大学」を目指しています。
信州大学を愛し、大学のステップアップにご尽力いただける方をお待ちしています。

■〒390-8621
長野県松本市旭3-1-1
■総務部人事課人事総務グループ
☎ 0263-37-2041
■全教職員数(常勤)2,692名
(うち 事務職員414名、
図書職員24名、技術職員82名)



27



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構事務局

人間文化の総合的学術研究の国際的拠点へ —「多様で一体」をスローガンに—

研究者の自由な発想による先端的な研究活動には、機構を運営し、研究を支援する事務・技術職員の存在が欠かせません。人文機構本部事務局では、機構全体の総務、広報・法人評価、研究支援、財務及び施設等の業務を行うとともに、機構を構成する6機関の総括・調整を行っています。6機関の架け橋として、「多様で一体」をスローガンとする本機構の一員として、あなたの能力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2F
■総務課人事係
☎ 03-6402-9215~7
■全教職員数(常勤)56名
(うち 事務職員26名、
技術職員2名)



28



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

日本の歴史文化知のための オープンサイエンス研究基盤の構築を目指して！

国立歴史民俗博物館(歴博)は、大学共同利用機関として、文献史学・考古学・民俗学および自然科学を含む関連諸科学の協業によって、大学をはじめとする国内外の研究者とともに、学際的で先進的な研究を推進しています。また、国立で唯一の歴史民俗系博物館として、「博物館型研究統合」の理念の基、総合展示や企画展示の開催により、収集した貴重な資料及び研究成果を広く一般に公開しています。

■〒285-8502
千葉県佐倉市城内町117
■管理部総務課人事係
☎ 043-486-6472
■全教職員数(常勤)93名
(うち 事務職員44名、
技術職員4名)



29



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館

世界でトップの日本文学研究拠点

国文研は、日本文学に関する文献等資料の調査研究、収集、整理、保存等を行っており、集積した資料は国内外の研究者及び利用者の方々に提供しています。また、大規模画像データベースの公開・管理、展示、講演会、シンポジウム等様々な事業を行うほか、大学院教育にも携わっています。

当館は仕事に積極的に取り組む意欲のある方をお待ちしています。

■〒190-0014
東京都立川市緑町10-3
■管理部総務課人事係
☎ 050-5533-2908・2909
■全教職員数(常勤)73名
(うち 事務職員29名、
図書職員12名、技術職員3名)





30



大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所

「コトバ」を研究し、豊かな社会づくりに貢献する
～日本語の研究推進・情報発信～

国語研は、日本語学・言語学・日本語教育研究の国際的・中核的拠点として、日本語の特質を解明しようとしている研究所です。世界中の言語の一つとしての日本語研究を通して、日本語を未来へ継承・発展させていこうとしています。そのために国内外の研究者と共同研究を実施し、研究成果を学術資料やデータベース等で広く提供しています。あなたも「コトバ」を未来につなぐ仕事に携わってみませんか。

■〒190-8561
東京都立川市緑町10-2
■管理部総務課人事係
☎ 042-540-4376
■全教職員数(常勤)57名
(うち 事務職員23名、
図書職員2名、技術職員5名)



31



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構事務局

～宇宙・生命・物質・エネルギー～ 最先端の自然科学研究分野を牽引!

自然科学研究機構(NINS)には、5つの大学共同利用機関(国立天文台、核融合科学研究所、基礎生物学研究所、生理学研究所、分子科学研究所)があり、最先端の自然科学研究分野を牽引し、各分野とその垣根を越えた共同利用・共同研究の促進と、国際共同研究拠点としての中核を担っています。幅広い視野を持ち、時代や社会の変化に柔軟に対応できる方、ぜひその力を発揮してみませんか。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■事務局人事労務課人事給与係
☎ 03-5425-2035
■全職員数(常勤)33名
(うち 事務職員33名)



32

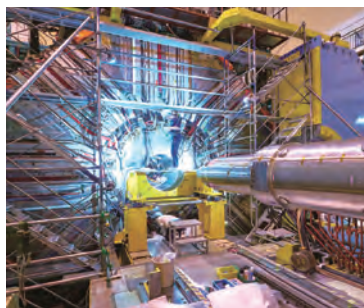


大学共同利用機関法人自然科学研究機構 国立天文台

はるかな時と膨大な距離を超え届く宇宙からのメッセージ

国立天文台は、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡を筆頭に、世界最先端の観測装置を有する天文学のナショナルセンターです。大学共同利用機関として、観測・研究・開発を推進し、国内に留まらず、国際協力のもと天文学および関連分野の発展のために活動しています。天文学の専門知識は問いません。これら活動を支え導く職員として、みなさんの持つ積極性、柔軟な発想と広い視野を活かしてみませんか。

■〒181-8588
東京都三鷹市大沢2丁目21番1号
■事務部総務課人事係
☎ 0422-34-3657
■全教職員数(常勤)398名
(うち 事務職員58名、
図書職員1名、技術職員37名)



33



大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

加速器だから見える世界。—宇宙・物質・生命の謎を解く—

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、最先端の大型粒子加速器を用いた加速器科学の総合的発展の拠点として、宇宙の起源、物質や生命の根源の探求を目指す研究所です。1971年に大学共同利用機関第一号として設立以来、約50年にわたり国内外の研究者に対して研究の場を提供し、基礎科学を推進しています。

あなたも最先端の研究所で世界に誇れる仕事をしていませんか。

■〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
■総務部人事労務課人事第二係
☎ 029-864-5117
■全教職員数(常勤)618名
(うち 事務職員156名、
技術職員134名)



34



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

あなたの支える研究が世界を変える

情報・システム研究機構は、生命・地球・環境・社会などに関わる複雑な問題を情報とシステムという観点からとらえ、実験や観測による大量情報の生成、データベース構築、さらにそこからの知識の抽出と活用に関する研究を行うとともに、その研究基盤を大学等の研究者に提供・支援します。日本全体の学術研究を推進すること、それを目指して、日々、真剣に仕事に励む人達がいます。

■〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13
ヒューリック神谷町ビル2階
■本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)40名
(うち 事務職員29名、
技術職員3名)



35



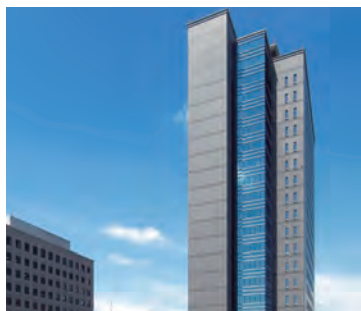
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所

極地観測と極域科学研究を総合的に行う日本唯一の研究機関

国立極地研究所は、極地に関する科学の総合研究と極地観測を行うことを目的に1973年に設置された大学共同利用機関です。南極・北極に有する観測基地におけるフィールド観測を基盤に、資・試料の分析、データ解析、モデリングを通じ地球科学、環境科学、太陽系地球科学、宇宙・惑星科学、生物科学などを包括した先進的総合地球システム科学を共同研究として推進しています。

■〒190-8518
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)170名
(うち 事務職員75名、
図書職員1名、技術職員29名)
(事務職員47名は統計数理研究所と共通)





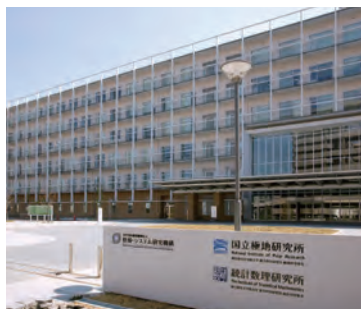
36 NII 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所

人と社会をつなぐ情報学—

活気あふれる若い力が見つめているのは情報社会の未来です。

国立情報学研究所(NII)は日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究まで、総合的に研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、および、サービスの提供といった事業を展開しています。

■〒101-8430
東京都千代田区一ツ橋2-1-2
学術総合センタービル
■情報・システム研究機構
本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)286名
(うち 事務職員68名、
図書職員15名、技術職員45名)



37 統計数理研究所 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構

知を結ぶ最先端科学「統計数理」に関する日本唯一の研究教育機関

統計数理研究所は、昭和19年に設立されて以来、日本における統計数理研究の中心的な機関として役割を果たしてきました。統計数理とは、データをもとに数理を道具として、合理的予測の実現を目的に、散在・偏在している様々な知識を「つなぐ」方法を研究する学問です。この特性を活かし、研究者、大学、産業と学術をつなぎ、学術と一般社会をつなぐことで、社会に貢献したいと考えています。

■〒190-8562
東京都立川市緑町10-3
■情報・システム研究機構
本部事務部総務課人事・労務係
☎ 03-6402-6209
■全教職員数(常勤)142名
(うち 事務職員50名、
図書職員2名、技術職員8名)
(事務職員47名は国立極地研究所と共通)



38 NISE 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

障害のある子ども一人一人のニーズに対応した教育の実現に貢献します

本研究所は、我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターです。特別支援教育に関する研究活動、教職員への研修事業、情報の収集・発信などの事業を行っています。事務職員は、総務、人事、会計、評価、研修事業の実施など、幅広い業務に携わります。何事にも意欲的に取り組み、他の職員と協力し合える方を求めています。障害のある子どもたちの未来のために私たちと一緒に働いてみませんか。

■〒239-8585
神奈川県横浜市中区野比5-1-1
■総務部総務企画課人事係
☎ 046-839-6925
■全教職員数(常勤)67名
(うち 事務職員32名)



39 大学入試センター 独立行政法人

志願者数は約51万人。日本で唯一の大規模試験を実施・運営しています。

本センターは、「大学入学共通テストに関する業務等を行うことにより、大学入学者の選抜の改善を図り、もって大学及び高等学校等における教育の振興に資する」ことを目的としている日本で唯一の機関です。志願者数約51万人の大学入学共通テスト(旧:大学入試センター試験)の実施と運営のため、私たちと一緒に情熱をもって取り組んでいただける方を文系・理系問わず求めています。

■〒153-8501
東京都目黒区駒場2-19-23
■総務部総務課人事・人材係
☎ 03-5478-1215
■全職員数(常勤)114名
(うち 事務職員100名、
技術職員1名)



40 国立青少年教育振興機構 独立行政法人

誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちに良質な体験を提供します

当機構は「体験活動を通じた青少年の自立」という目的を掲げ、平成18年4月に発足しました。青少年教育のナショナルセンターとして、全国28の教育施設にて特色のある活動を展開し、青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

我が国の青少年教育をリードする気概を持ち、課題意識に基づく向上心とチャレンジ精神を持って何事にも取り組める職員を求めています。

■〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
■総務部人事課人事企画係
☎ 03-6407-7643
■全職員数(常勤)501名
(うち 事務職員494名、
技術職員5名)



41 国立赤城青少年交流の家 独立行政法人国立青少年教育振興機構

本物体験 学びの宝庫

当施設は、赤城山南麓の標高 530メートルに位置し、四季を通じて豊かな自然環境に恵まれ、体験と交流の場を提供することにより、共に学びあえる施設づくりに努めています。赤城山の自然環境を活用した体験活動や研修活動をととして、「青少年の自立」と「体験活動の普及」を目指します。

子ども達を身近に感じられる当施設で、私達と一緒に研修活動をサポートしていきましょう。

■〒371-0101
群馬県前橋市富士見町赤城山27
■総務係
☎ 027-289-7203
■全職員数(常勤)14名
(うち 事務職員14名)





42



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家

豊かな体験活動を妙高で!!

当施設は、美しく雄大な妙高山の山麓に位置し、緑があふれるグリーンシーズン、豊富な雪のホワイトシーズンに、それぞれの自然の恵みを活かし、盛りだくさんの魅力ある体験活動を青少年に提供しています。

私たち職員は、「チーム妙高」として、地域の皆様と一緒に、高い誇りをもって業務に当たっています。次世代を担う子供たちの自立のために、ぜひ私たちと一緒に働いてみませんか。

■〒949-2235
新潟県妙高市大字関山6323-2
■総務係
☎ 0255-82-4324
■全職員数(常勤)15名
(うち 事務職員15名)



43



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

「自然の豊かさを見つけよう 考えよう 味わおう 楽しもう」

本施設は、壮大な南アルプスと中央アルプスの秀峰を望み、高遠コヒガンザクラと城下町で知られる伊那市高遠町の晴ヶ峰高原に所在しています。青少年をはじめとする施設利用者に対して、日常の生活では体験することができない非日常的な感動体験を通して、青少年の自立と体験活動の普及に取り組んでいます。

■〒396-0301
長野県伊那市高遠町藤沢6877-11
■総務係
☎ 0265-96-2528
■全職員数(常勤)14名
(うち 事務職員14名)



44



独立行政法人 国立女性教育会館

我が国の男女共同参画ネットワークの中核—NWECC(ヌエック)

国立女性教育会館(NWECC)は、男女共同参画社会形成の促進に資することを目的とした我が国唯一の女性教育のナショナルセンターです。我が国は、政策・意思決定過程への女性の参画が少なく、ジェンダー・ギャップ指数が146か国中125位であることや男性中心の働き方など課題が山積しており、目的の実現は未だ道半ばです。男女共同参画社会の実現を目指して、NWECCで一緒に働いてみませんか。

■〒355-0292
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
■総務課人事・企画係
☎ 0493-62-6719
■全職員数(常勤)23名
(うち 事務職員19名、図書職員4名)



45



独立行政法人 国立科学博物館

1877年に創立された、自然史・科学技術史に関する 国立唯一の総合科学博物館

国立科学博物館は、自然科学及び社会教育の振興を図ることを目的として上野本館、筑波実験植物園、附属自然教育園を設置しています。事務職員は、総務・財務・研究支援などを担う管理部門、展示・学習支援・企業地域連携などを担う事業部門があり、幅広い業務に携わっています。シンボルマークのキャッチコピーである「想像力の入り口」となるべく、私たちと一緒に新しい科博を創っていきましょう。

■〒110-8718
東京都台東区上野公園7-20
■経営管理部総務課
人事・労務担当
☎ 03-5814-9816
■全職員数(常勤)143名
(うち 事務職員80名、技術職員1名)



46



国立研究開発法人 物質・材料研究機構

世界トップレベルの「材料」研究で生活の「明日」を創る 未来を拓く

人類の発展と共に進歩する材料。地球規模の環境・資源問題の解決手段の一つとしても近年注目されています。国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)は「明日を創る材料研究」をテーマに物質・材料分野で最先端の研究を行っています。研究機関の運営や環境作りを行う事務職の仕事を通じ研究と社会還元と一緒に貢献しませんか。多様な業務の中であなたに相応しいキャリアを見つけてください。

■〒305-0047
茨城県つくば市千現1-2-1
■経営管理部総務課
人事・労務担当
☎ 029-859-2472
■全職員数(常勤)542名
(うち 事務職員101名、技術職員72名)



47



国立研究開発法人 防災科学技術研究所

生きる、を支える科学技術 SCIENCE FOR RESILIENCE

国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的にを行い、防災科学技術の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指しています。

■〒305-0006
茨城県つくば市天王台3-1
■総務部総務課
☎ 029-851-1611
■全職員数(常勤)326名
(うち 事務職員171名)





独立行政法人 国立美術館 48 東京国立近代美術館

49 国立映画アーカイブ 50 国立西洋美術館 51 国立新美術館

あらゆる人に開かれた美術館を目指して...

国立美術館は、我が国の美術振興の中心的拠点として、国内外の美術作品等を収集・保管・展示し、文化芸術の多様な価値を生かした社会づくりに向けて、館ごとに個性豊かで多彩な活動を展開しています。採用後は、総務・人事・財務・会計、渉外・広報などの業務に携わり、国立美術館の管理・運営の様々な角度へ活躍の場を広げることができます。

■〒102-8322
東京都千代田区北の丸公園3-1
■独立行政法人国立美術館
本部事務局人事担当係
(東京国立近代美術館
運営管理課人事担当係)
☎ 03-3214-2583
(ダイヤルイン)
■全教職員数(常勤)146名
(うち 事務職員72名、
技術職員1名)



52 東京国立博物館 独立行政法人国立文化財機構

日本の伝統と文化を未来へ、そして世界へ伝えたい

東京国立博物館は1872年(明治5年)に創設された日本初の博物館です。日本と東洋の美術・考古遺物を収集・保存・展示するほか、多くの方々にその美と文化、そして博物館に親しんでいただく機会の提供に努めています。

事務職員は、総務・人事・経理等他の国立大学法人等と同様の業務だけではなく、展示やイベント等に係わる博物館ならではの業務に就くこともあります。

■〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9
■本部事務局総務企画課
(人事担当)
☎ 03-3822-1111
■全職員数(常勤)168名
(うち 事務職員65名、
技術職員10名)



53 東京文化財研究所 独立行政法人国立文化財機構

基礎的・実践的な調査研究による、有形・無形の文化財の保存・修復・公開へ

東京文化財研究所は、国の文化財全般の調査研究や保存修復、文化遺産保護の国際協力を行う研究所です。1952(昭和27)年の創設以来、有形・無形文化財の基礎的・先端的な調査研究を進め、文化財保護行政を支える役割を果たしてきました。

当研究所は小規模ながら精鋭の職員を配し、日々の業務にあたっています。総務・会計・国際協力事業などの企画渉外等の業務があります。

■〒110-8713
東京都台東区上野公園13-43
研究支援推進部管理課総務係
☎ 03-3823-2244
■全職員数(常勤)43名
(うち 事務職員6名、
技術職員1名)

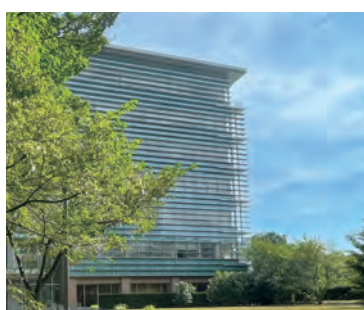


54 教職員支援機構 独立行政法人

全国の教職員の資質向上の総合的支援を行う全国拠点として

本機構は、全国の教職員の資質向上を目的とし、教職員に対する研修の実施、研修コンテンツ配信、研修プログラム開発などを行っています。また、教職員の資質向上に関する調査研究や、教職員の養成・採用・研修の全国拠点として大学や教育委員会等の学校教育関係機関を結ぶネットワークづくりなどに取り組んでいます。次代を担う子供たちの教育とよりよい未来社会の形成のために一緒に働きましょう。

■〒305-0802
茨城県つくば市立原3番地
■総務部総務企画課人事係
☎ 029-879-6611
■全教職員数(常勤)43名
(うち 事務職員42名)



55 大学改革支援・学位授与機構 独立行政法人

高等教育の質の向上を支援し、我が国の高等教育の発展に寄与する

当機構は、大学以外で学位を授与できる我が国で唯一の機関として、多様な学習の成果が適切に評価される社会の実現を図るとともに、高等教育の発展に資することを目的に、大学等の教育研究活動の状況について評価を行うことにより教育研究水準の向上を図るなど、様々な事業を行っています。

大学等と連携して社会からの期待と信頼に応えられる高等教育の実現を目指します。

■〒187-8587
東京都小平市学園西町1-29-1
■管理部総務課人事第1係
☎ 042-307-1514
■全教職員数(常勤)182名
(うち 事務職員162名)



56 国立高等専門学校機構本部事務局 独立行政法人

情熱ある若者が未来を創造する実践的技術者に成長するまでサポート

高等専門学校は、実践的・創造的技術者を養成するため、中学卒業後から5年間の一貫教育を行う高等教育機関です。機構本部事務局は、全国51の国立高専の「舵取り役」「縁の下力持ち」として企画・管理業務を行い、約5万人の学生・約6千人の教職員を支える重要な役割を担う組織です。「高専・学生のために何ができるか」を考え行動できる方と一緒に高専の未来を創ってきたいと思っています。

■〒193-0834
東京都八王子市東浅川町701-2
■人事課人事係
☎ 042-662-3158
■全教職員数(常勤)131名
(うち 事務職員87名、
技術職員16名)





57



独立行政法人国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校

進化する創造力

世界で活躍し世界に貢献できるグローバル・エンジニアの育成を目指して

茨城高専では教育・研究の質保証、向上、そして、社会の変化に敏感に対応した教育改革、地域連携強化、グローバル化を教職員が一丸となって進めています。

本校には様々な課題や変化に柔軟に対応できる方、周囲と協調し責任感を持って意欲的に仕事に取り組んでいただける方の力が必要です。あなたの力を発揮し、一緒に茨城高専の未来を創っていきませんか。

■〒312-8508
茨城県ひたちなか市中根866
■総務課人事・労務係
☎ 029-271-2808
■全教職員数(常勤)111名
(うち 事務職員26名、
技術職員13名)



58



独立行政法人国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校

ひとをつくり、ものをつくり、社会とつなげよう

高専は、教育現場であり、地域社会における研究拠点でもあります。その中で関わる職員や教員、学生、企業の方々等様々な人と積極的にコミュニケーションを取りながら、一緒に魅力ある学校作りに携わってみませんか。

【求める人物像】

- 現状に満足せず、より良い姿に変えるため日々改善・改革を実行できる人
- 困難な状況においても、忍耐強く課題に取り組むことができる人

■〒323-0806
栃木県小山市大字中久喜771
■総務課総務係
☎ 0285-20-2116
■全教職員数(常勤)115名
(うち 事務職員32名、
技術職員11名)



59



独立行政法人国立高等専門学校機構 群馬工業高等専門学校

ものづくりの夢と希望を持った学生達のお手伝いを一緒にしませんか!

本校は、5学科(機械、電子メディア、電子情報、物質、環境都市)、2専攻科(生産システム、環境)を設け、視野の広い創造的な技術者を育成しています。

事務職員は総務課と学生課に、技術職員は教育研究支援センターに配置され、学校運営等に携わっています。ものづくりの夢と希望を持った学生達の夢の実現に向けて、活気あふれる学校を一緒に作りましょう。

■〒371-8530
群馬県前橋市鳥羽町580
■総務課人事係
☎ 027-254-9010
■全教職員数(常勤)112名
(うち 事務職員25名、
図書職員1名、技術職員13名)



60



独立行政法人国立高等専門学校機構 木更津工業高等専門学校

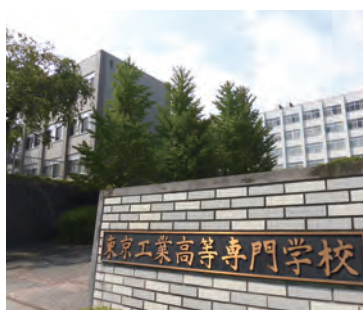
日本の未来を支える、若き力。 それを支えるのは、あなたです。

【求める人物像】

- 広い視野で、様々なことに積極的に取り組める方
- 学生に近いフレッシュな感覚を活かし、活気のある学校づくりに取り組んでくれる方
- 明るく、熱意をもって仕事に取り組める方

本校は、教職員の距離が非常に近く、風通しの良い職場です。さらに活気のある学校にするため、あなたの力を貸してください。是非、一緒に働きましょう!

■〒292-0041
千葉県木更津市清見台東2-11-1
■総務課人事・労務係
☎ 0438-30-4007
■全教職員数(常勤)120名
(うち 事務職員32名、
技術職員13名)



61



独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校

ユニークな教育機関で働いてみませんか?

高専は15歳から5年間一貫教育を行うユニークな高等教育機関で、卒業生の就職率はほぼ100%となっており、産業界から高い評価を受けています。大学とは異なり、一人ひとりの携わる仕事が幅広いため、早くから多くの知識や経験を身につけることができる職場です。駅徒歩5分の都市型高専から、エンジニアが羽ばたく瞬間を共有しませんか?主体的に考え実行できる方の応募をお待ちしています。

■〒193-0997
東京都八王子市桐田町1220-2
■総務課人事労務係
☎ 042-668-5115
■全教職員数(常勤)116名
(うち 事務職員32名、
技術職員14名)



62



独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校

人類の未来をきりひらく、 感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成

本校は、社会に求められ活躍できる人財を育成し続けています。研究、地域連携、国際交流等にも積極的に取り組んでおり、業務は学生の教育や課外活動支援のみならず多岐に渡ります。学生支援や社会貢献のため、社会のニーズを見極め常にアップデートしていくためには意欲的なあなたの力が必要です。本校は教職員に垣根がない働きやすい職場です。本校と一緒に未来を創っていきましょう!

■〒940-8532
新潟県長岡市西片貝町888番地
■総務課人事係
☎ 0258-34-9313
■全教職員数(常勤)118名
(うち 事務職員30名、
技術職員14名)





63



独立行政法人国立高等専門学校機構 長野工業高等専門学校

優れた技術者は、優れた人間でなければならない

本校は、実践的技術者の養成を目的に設立された国立高専の一つとして昭和38年（1963年）に開校しました。

職員の組織は、事務部（総務課、学生課）及び技術支援部から構成され、本校が目指す教育理念の実現に向けて、学校運営に携わっています。

幅広い視点で考えて、責任感を持った仕事出来る環境です。そのような高専の仕事に対して、意欲的で向上心溢れた方をお待ちしております。

■〒381-8550
長野県長野市大字徳間716
■総務課人事係
☎ 026-295-7004
■全教職員数（常勤）117名
（うち 事務職員31名、
技術職員14名）



64



特別な学校法人 放送大学学園

全ての人の開かれた、日本随一の生涯学習機関

「放送大学学園」に基づく特別な学校法人です。学園が設置する放送大学は、学びたい全ての人の開かれた生涯学習機関です。テレビ・ラジオ・インターネットを利用した遠隔授業、全国各地で行う面接授業等、場所や時間を問わない多様な教育方法により、学びの機会を提供しています。職員には、中長期的な視点に立って経営を担うことが求められ、やりがいのある仕事を任される機会が多くあります。

■〒261-8586
千葉県千葉市美浜区若葉2-11
■総務部総務課人事係
☎ 043-298-4210
■全教職員数（常勤）326名
（うち 事務職員247名）



よくある質問

Q1

引っ越しを伴う異動、
他機関での勤務はありますか？

A1

原則、採用された機関での勤務となります。県内各地にキャンパスを持っている機関などでは、異動の際に引っ越しが必要になる可能性はあります。また、人事交流により、他機関で勤務することもあります。

Q2

年齢や学歴、既卒か新卒かで、
採用にあたって有利・不利はありますか？
また、従事できる職種に違いはありますか？

A2

年齢や学歴、既卒・新卒による有利・不利はありません。また、従事できる職種に違いはありません。

Q3

第二次試験（面接考査等）は
1つの機関しか
受けられないのですか？

A3

第二次試験は、日程が重複しない限り複数の機関を受験できます。ただし、スケジュール等をよく確認し、受験日の変更等がないようにしてください。また、第二次試験合格に対する応諾をできる機関は1つです。

勤務条件・福利厚生

working conditions & welfare

職員一人ひとりが安心して職務に専念できるよう、各機関は勤務環境の充実を図っています。

勤務条件（代表例）

勤務時間	原則として1日7時間45分（週38時間45分）となります。
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）となります。
主な休暇休業等	年次休暇：年間20日（初年は採用時期により異なります。4月採用は15日） 残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。 （付与日数と繰り越しを合わせて年間で最大40日） 特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、ボランティア休暇、忌引き等 病気休暇：病気やけがの療養のため、必要と認められる期間 育児休業：子供が3歳になるまでの間、男女問わず利用できます。ほかに、部分休業や短時間勤務制度もあります。 介護休業：配偶者、父母、子等が介護を必要とする場合に利用できます。
給与・手当	初任給は約18万円～25万円程度となります。学歴や採用前の職歴に応じ、決定します。 手当は、通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当、期末勤勉手当（いわゆるボーナス。6月と12月の年2回支給）等があります。 昇給：原則年1回（1年間の勤務成績に応じて昇給します。）

福利厚生

健康保険年金等	文部科学省共済組合等に参加します。
健康管理	各機関では、健康診断の実施、人間ドックの助成を行っています。
宿 舎	単身者用・世帯用の住宅を設置している機関もあります。
レクリエーション	機関内・他機関との交流のため、スポーツ大会やサークル活動などが行われています。
施設の利用	各機関の所有する体育館、グラウンド、テニスコート等の各種施設や附属図書館を利用できます。

※法人化により、職員の身分は「非公務員型」の法人職員となりました。

※各機関ごと、就業規則等により異なります。

ジョブローテーション

job rotation

人材の育成を目的として、
約2～3年を目安に人事異動を行い、
各業務部門を幅広く経験します。

➡ P4,5 参照

研修制度

training system

自ら学ぶ意欲のある職員を支援する
環境を整備しています。

階層別
研修

目的別
研修

自己啓発
支援

➡ P24 参照

人事交流

personal exchange

幅広い視野を持った人材を育成するた
めに、約1～3年の期間を定め、他機関での
勤務や、文部科学省等への研修派遣も行
っています。

※地方自治体や私立大学、民間企業等で勤務をする場合
があります。

➡ P24 参照



国立大学法人等職員 統一採用試験

【編集・発行】

関東甲信越地区

国立大学法人等職員採用試験事務室

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1(東京大学本部内)

TEL 03-5841-2769, 2770

<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

イラスト：水谷慶大